

## 典拠レコードの操作

典拠レコードを使用するには、次のいずれかの役職が必要です。

- 目録者
- 目録マネージャー
- 目録管理者
- リポジトリマネージャー
- 冊子目録オペレーター
- 購入オペレーター
- 購入管理者
- エディターフル(機能しない)
- デジタル目録オペレーター

## コミュニティゾーンの典拠単語

Almaは、Ex Librisによって定期的に更新および維持される一連の典拠レコードをコミュニティゾーンで提供します。Almaは次の単語を維持します。

単語

典拠単語	件名/著者 典拠	更新頻度	単語コード
AIATSIS地名	件名	利用可能な場合	AIATSISP
AIATSIS局所的	件名	利用可能な場合	AIATSISS
芸術と建築の用語集	件名	未定 - プロバイダーは現在、MARC 更新スケジュールに取り組んでいます	AAT
BARE (ノルウェー典拠システム) - BIBSYS典拠レジストリ  (詳細については、 <a href="#">ノルウェー典拠システム (BARE) レコードの操作</a> を参照してください。)	件名と名称	毎日	BARE
BK Basisklassifikation分類	件名と名称	利用可能な場合	BKL
BNC - Catàleg d'autoritats de noms i títols de Catalunya (CANTIC)	名前	6時間おき	CANTIC
BNC - Llista d'encapçalaments de matèria en català (Lemac)	件名と名称	6時間おき	LEMAC

典拠単語	件名/著者 典拠	更新頻度	単語コード
BNF – フランス国立図書館-MARC 21バージョン	件名と名称	月に一度	FRBNF
フランス語でのカナディアン名前前典拠	名称	2週間ごと	LACNAF
CSIC	件名と名称	毎日	CSICAU
チェコ国家典拠データベース / Databáze národních autorit	件名と名称	6時間おき	CZENAS
EMBUS	件名	月に一度	EMBUS
EuroVoc – EUの多言語ソーラス	件名	利用可能な場合	EUROVOC
FAST – 件名用語の多面的な適用 – OCLC	件名	利用可能な場合	FAST
フィンランド語のジャンルと形式の単語(フィンランド語)	件名	週に一度	SLM/FIN
フィンランド語のジャンルと形式の単語(スウェーデン語)	件名	週に一度	SLM/SWE
フィンランド語名前前典拠ファイル	名称	6時間おき	FINAF
フィンランドの作品および表現の典拠	名前	利用可能な場合	TEKA
フランス語のMeSH UNIMARCバージョン	件名	利用可能な場合	FMESH
一般的なフィンランドのオントロジー(フィンランド語)	件名	週に一度	YSO/FIN
一般的なフィンランドのオントロジー(スウェーデン語)	件名	週に一度	YSO/SWE
GND – ドイツ国立図書館	件名と名称	毎日	GND
GSAFDジャンル規約	件名	利用可能な場合	GSAFD
Haifa子供図書館の件名	件名	利用可能な場合	HAIFACH
ホモサウルス	件名	利用可能な場合	HOMOIT
香港中国語典拠名称	件名と名称	毎日	HKCAN
IdRef – MARC21バージョン	件名と名称	6時間おき	IDREF
IdRef – UNIMARCバージョン	件名と名称	6時間おき	RAMEAU
国際HAPAF	件名と名称	毎日	国際HAPAF

典拠単語	件名/著者 典拠	更新頻度	単語コード
Jurivoc - スイス連邦最高裁判所の多言語シソーラス	件名	利用可能な場合	JURIVOC
LCDGT (Library of Congress Demographic Group Terms)	件名	利用可能な場合	LCDGT
Library and Archives Canada (LAC) – Canadian Subject Headings	件名	利用可能な場合	CSH
Library of Congress Children's Subject Heading	件名	利用可能な場合	1=LCSHKIDS
米国議会図書館 (LoC) – ジャナル/フォーム用語シソーラスレコード	件名	週に一度	LCGFT
米国議会図書館 (LoC) – 音楽用パフォーマンスシソーラスの媒体	件名	利用可能な場合	LCMPT
米国議会図書館名 (LCNAF)	名前	毎日	LCNAMES
米国議会図書館件名 (LCSH)	件名	週に一度	LCSH
中国語の件名用語のリスト	件名	季刊	LCSTT
マオリ件名標目	件名	年3回	REO
国立農業図書館件名典拠ファイル	件名 (英語用語)	年1回	NAL
イスラエル国立図書館-多言語シソーラス	件名と名称	6時間おき	NLI
イスラエル国立図書館	件名と名称	利用可能な場合	EMBNE
中国の図書館のための新しい分類体系	分類	季刊	NCSCLT
NLK(국립중앙도서관) 저자 전거(단체) (NLK (韓国国立中央図書館著者名典拠 (団体)))	名称	利用可能な場合	KAB
NLK(국립중앙도서관) 저자 전거(개인) (NLK (韓国国立中央図書館著者名典拠 (個人)))	名称	利用可能な場合	KAC
NLM MeSH – 米国国立医学図書館	件名	年1回	MESH
NSKPS	件名と名称	毎日	NSKPS
NSKZS	件名	毎日	NSKZS

典拠単語	件名/著者 典拠	更新頻度	単語コード
NUKAT	件名と名称	毎日	NUKAT
Nuovo Soggettario	件名	年2回	NSBNCF
PUC – Pontificia Universidad Católica de Chile	件名と名称	利用可能な場合	CLSAPUC
RAMEAU – MARC 21バージョン	件名	月に一度	RAM
RVK分類 (詳細については、 <a href="#">RVK典拠レコード分類の操作</a> を参照してください。)	件名と名称	年2回	RVK
台湾語名前典拠ファイル	件名と名称	週に一度	TWNAF
一般用語 / カタルーニャ形式	件名	毎日	TGFC
TGM 画像の物理形式 (詳細は「 <a href="#">AlmaにおけるTGM (画像資料用シソーラス)の操作</a> 」を参照)	件名	季刊	GMGPC
TGM 主題 (詳細は「 <a href="#">AlmaにおけるTGM (画像資料用シソーラス)の操作</a> 」を参照)	件名	季刊	LCTGM
バルセロナ大学シソーラス	件名	6時間おき	THUB
VLK	件名と名称	6時間おき	VLK
VND	件名と名称	6時間おき	VND

## Note

複数のタイプの名前典拠を使用するには、Ex Librisにあなたのシステムに典拠の優先を設定するようにリクエストする必要があります (非多言語典拠のみで利用可)。そうしない場合、Almaは複数の主題典拠を使用できますが、使用できる名前典拠は1種類のみとなります。たとえば、AlmaがLCNAMESを使用するように定義されている場合、GND著者典拠を使用できません。

ローカル典拠が所属機関で有効になっている場合 (このタスクはEx Librisが完了する必要があります)、ローカル典拠レコードを作成でき、これによってコミュニティゾーンでAlmaが提供するグローバル典拠レコードを上書きできます。詳細については、[ローカル典拠レコードの作成](#)を参照してください。ローカル拡張機能を追加できるように、グローバル典拠ファイルをローカルで管理するに設定することもできます。詳細については、[MD エディタでグローバル典拠の表示とアクセスを制御する](#)を参照してください。

書誌レコードが毎回保存される度に、それにリンクされている権限の見出しが再計算されます。

---

## 典拠レコードに関連するジョブ

---

### Note

AlmaおよびPrimo VEを非優先語で検索するには、[構成]>[リソース]>[一般]>[その他の設定]のパラメータ `enable_extender_index_linked_aut` を `true` に設定する必要があります。詳しくは、リポジトリ検索における非優先語を参照してください。 [リポジトリ検索の非優先用語](#)

---

Almaは、次のジョブを毎日自動的に実行して、目録内の書誌レコードを典拠化します。

- [典拠 - 書誌標目のリンク](#) - このジョブは、書誌レコードにリストされている完全な用語について、下位区分フィールドを含むすべての典拠（およびEx Librisサポートによって有効になっている場合はローカル典拠）のレコードフィールドを検索します（有効になっている場合、ローカル典拠に優先順位を与えます）。完全に一致するものが見つかった場合、書誌レコードは対応する典拠レコードにリンクされます。完全に一致するものが見つからない場合、すべての典拠レコードの検索が再度実行されますが、サブディビジョンフィールドは無視され、書誌レコードは2回目の検索中に配置された一致する典拠レコードにリンクされます。典拠でのその後の実行において - 書誌標目のリンクジョブの実行時に、サブディビジョンフィールドのない典拠レコードにリンクされていた書誌レコードが、より一致する典拠レコード（サブディビジョンフィールドのある）に再リンクされる場合があります。見出しの主要部分で一致が見つかった場合でも、サブディビジョンは書誌レコードに保持されます。MARC 21の場合、サブディビジョンの部分マッチングは、6XXフィールドの\$v \$x \$y \$zで行われます。UNIMARCおよびCNMARCの場合、サブディビジョンの部分マッチングは、フィールド410、600、601、602、605、606、607、610、616、617、620、675、680、711、713、730、740、741、742の\$\$j、x、y、zで行われます。
- 

### Note

時間が経つにつれて、作成したローカル典拠レコードがコミュニティゾーン典拠レコードとして利用できるようになる場合があります。これらのレコードがコミュニティゾーンに追加されると、ローカル典拠レコードに添付されたレコードには何も起こりません。ローカル典拠レコードは、コミュニティゾーンに接続することなくローカルのままです。すでにローカル典拠レコードにリンクされている書誌レコードのリンクが、コミュニティゾーンの典拠レコードに切り替わることはありません。

ただし、ローカル典拠レコードと同じ典拠レコードがコミュニティゾーンに追加された場合、ローカル典拠レコードを削除することを選択できます。ローカル典拠レコードを削除する選択をした場合、すべての標目は、Almaの夜間リンクジョブによって、同じ優先語（1XXフィールド）のコミュニティゾーン典拠レコードにリンクされます。

---

### Note

あるインスタンスでは同じ用語が優先され、別のインスタンスではこの用語が優先されない典拠レコードがある場合、複数の一致が検出されます。詳細については、[典拠管理タスクリストの変更リスト](#) [を参照してください](#)。

---

CJKコンテンツの場合、書誌レコードは、CJKコンテンツ（翻字されたラテン語コンテンツではなく）に基づいた典拠レコードにリンクされます。

- [典拠 - 優先語の修正](#) - このジョブは、[典拠 - 書誌標目のリンクジョブ](#)を使用して、典拠（Ex Libris Supportによって有効にされている場合はローカル典拠も）レコードにリンクされているすべての書誌レコードで優先語の修正を実行します。たとえば、書誌レコードに非優先語“Narcotics, Control of,”が含まれ、関連する典拠レコードに優先語“Drug

control,”が含まれる場合、典拠-優先語修正ジョブは“Narcotics, Control of”を優先語“Drug control.”に置換します。書誌レコードも、典拠レコードに対する後続の更新で更新されます。例えば、書誌レコードの典拠管理フィールド100 \$aXXX\$d 1926-が当局の優先用語100 \$aXXX\$d 1926-にリンクされており、この用語が典拠レコードにおいて100 \$XXX \$d1926-2022に更新された場合、書誌レコードの100は、100 \$XXX 1926-2022に更新されます。\$dジョブの実行中に失敗したレコードがあった場合、ジョブは次の実行でそれら进行处理します。

このジョブはデフォルトで無効になっています。有効にするには、disable\_preferred\_term\_correction\_job パラメータ ([その他のセッティングの設定 \(リソース管理\)](#) を参照) を **false** に設定します。このパラメータの変更は、優先レコードが修正されるかどうかだけにのみ影響することに注意してください。その後、[ジョブの監視] ページの [スケジュール済み] タブを表示し ([「スケジュール済みジョブの表示」](#) a) を参照)、**A典拠 - 優先レコードの修正ジョブ** が有効であることを確認します。無効になっている場合は、ExLibrisサポートに連絡して有効にしてください。

コンソーシアム向け



リンクジョブと PTC ジョブは、ネットワークゾーン内の集中管理データの場合はネットワークゾーンで実行され、ローカルに管理されるデータの場合はローカル (機関ゾーン) で実行されます。

---

## Note

- 典拠レコードの更新を追跡するためのベストプラクティスは、**典拠コントロールタスクリスト**を使用することです (詳細については、「[典拠コントロールタスクリストの使用](#)」を参照)。
- 優先用語の修正ジョブは、大規模な権限更新を実行することを計画する際には無効にすることを強くお勧めします。

---

典拠-優先語修正ジョブは、移行された書誌レコードの優先語の修正をさかのぼって処理しません。移行された書誌レコードはAlmaの典拠にリンクされる可能性があるため、レコードが最初に移行された後にAlmaで発生した (書誌レコードの典拠形フィールド、または書誌レコードがリンクされるコミュニティゾーンの典拠レコードなどへの) 変更は、**典拠 - 優先用語の修正ジョブ**が有効になった後、今後のレコードの優先語の修正をトリガーします。

---

## Note

コミュニティゾーンにリンクされたBIBレコードは、優先用語の修正ジョブによって更新されません。

- 
- [典拠 - サブディビジョン別典拠検索](#) - 典拠レコード内で包括的な検索を実行し、ユーザーが幅広い分野にわたるサブディビジョンを検索できるようにします。これにより検索プロセスが強化され、サブフィールド v/x/y/z をサブディビジョン化して典拠レコードデータベース内の特定の情報を見つけやすくなります。
  - [典拠 - ローカル典拠レコード更新](#) - 書誌レコードの\$0を更新し、ローカル典拠レコードの再リンクを実行します。
  - [典拠 - BIBFRAMEレコードのリンク](#) - BIBFRAMEレコードは、名前と主題に関して次の典拠にリンクされています。
    - 米国議会図書館名前 (LCNAF)
    - 米国議会図書館主題 (LCSH)
    - 米国議会図書館子どもの主題見出し

- 米国議会図書館 (LoC) – ジャンル/フォーム用語シソーラスレコード
- 米国議会図書館 (LoC) – 音楽用パフォーマンスシソーラスの媒体
- FAST – 主題用語の多面的な適用 – OCLC
- NLM MeSH – 米国国立医学図書館
- SpMaBN - スペイン国立図書館

上記の機関からのURIを含むレコードは、(<bf:contribution>または<bf:genreForm>または<bf:subject>の一環として)、日常業務典拠 – BIB見出しのリンクの一環としてレコードを機関にリンクすることができます。これにより、ユーザーは非推奨の用語でBIBFRAMEレコードを検索できるようになります。

#### Note

非推奨用語で検索するオプションは、有効化された顧客パラメータによって異なります：

`enable_extender_index_linked_aut`

#### Note

優先用語修正ジョブ (機関 - 優先用語の修正) は、BIBFRAMEレコードに対してはアクティブ化されていません。これは、現在、BIBFRAMEレコードが外部で管理されており、Almaでは編集できないためです。

[書誌レコードが典拠データベースから更新](#)される際に実装される句読点ルールの一覧については、更新された書誌レコードに実装された句読点ルールを参照してください。

## Almaベースの典拠管理

Almaは、Almaベースの典拠管理をサポートしています。ローカル典拠レコードを管理し、それらをコミュニティゾーンに公開する機関の場合、Almaコミュニティにこれらのローカル典拠レコードに寄与させるオプションがあります (イスラエル国立図書館 (NLI) の実装など)。1) 現在典拠ファイルをローカルで管理している機関である場合、2) それをコミュニティゾーンに発行している場合、3) 他の権限のある Almaコミュニティのメンバーにこの典拠ファイルへの変更の寄与を許可する場合は、Ex Librisに連絡してリクエストの実現可能性の分析を依頼してください。権限要件がこの機能の基準に一致する場合、Ex Librisが協力してこの機能の実装を行います。詳細については、[NLI統合典拠レコードの操作](#)を参照してください。

## ローカル典拠定義の追加

Almaでは、MDエディタで典拠レコードを入力するとき、またはインポートプロファイルを使用して典拠レコードをインポートするときに使用するローカル典拠 (または単語) を作成できます。

#### Note

複数のサブジェクト典拠をAlmaで使用できます。複数の名前典拠語彙を使用する場合は、典拠制御のために典拠語彙間の優先順位を定義する必要があります。このオプションを設定するには、[Ex Libris](#) サポートにお問い合わせください。

システム (グローバルまたはローカル) の典拠の優先順位を構成するように要求しない限り、使用できる名前典拠語彙は 1 つだけです。たとえば、Alma が LCNAMES を使用するよう定義されている場合、Alma は GND 名機関またはローカル名機関語彙を使用できません。これらの要因に照らして、名前または名前と主題の単一タイプのローカル語彙を定義することをお勧めします。

グローバル典拠語彙のローカル拡張を管理できることに注意してください。これを行うには、構成 > リソース > メタデータ構成セクションで、ローカルで管理表示を有効にします。有効にすると、機関はグローバル語彙に関連付けられたローカル典拠レコードを作成できます。Alma は常に、一致するグローバルレコードよりもローカルレコードを優先します。グローバル典拠レコードにリンクするには、ローカルレコードを削除する必要があります。

定義された著者典拠に使用されるコードの詳細については、下のローカル典拠の追加ダイアログボックスのコードエントリを参照してください。

ローカル典拠レコードをグローバル語彙の一部として管理する図書館によって追加されたローカル典拠は、典拠見出しの参照画面で (ローカル) 表示によりローカルレコードを簡単に識別できます。

ローカル典拠の表示

## ローカル典拠を作成する方法

### Note

ローカル典拠設定を追加するときに、言語設定オプションで提供される機能を使用する場合は、まずサポートに連絡してシステムのその機能を設定する必要があります。

1. [メタデータ設定リスト] ページ ([設定メニュー > リソース > 目録 > メタデータ設定]) で、[ローカル典拠] の追加を選択します。ローカル典拠の追加ダイアログボックスが表示されます。
2. ローカル典拠の追加ダイアログボックスに情報を入力します (詳細については、以下の表を参照してください)。

パラメータ	説明
名称	このローカル典拠を識別する名前を入力します。この名前は単語名列に表示されます。
コード	このローカル典拠の識別コードを入力します。このコードは、[メタデータ設定リスト] ページの [典拠単語] セクションのコード列と、典拠プロファイルの [プロファイル詳細のインポート] ページの [単語コード] ドロップダウンリストに表示されます。

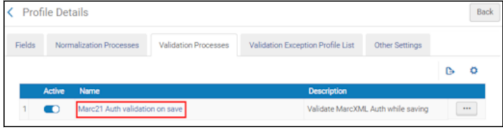
パラ メー タ	説明
	<p>典拠レコードが書誌レコードの第2インジケータ7、サブフィールド2にある場合、コードはこのサブフィールド2にあるものと一致する必要があります。これは、ローカル典拠の件名および著者と件名タイプに関連しています。</p> <p>ローカル典拠の著者タイプの場合（このセクションの冒頭にある上記の注を参照）、コードは、Ex Librisスタッフが所属機関に対して入力した<b>authority_names</b>ユーザーパラメータ値と一致する必要があります。このパラメータに定義された値が不明な場合（デフォルトはLCNAMES）、Ex Libris担当者に連絡してください。</p>
タイプ	<p>ドロップダウンリストで使用可能な次のオプションから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 件名</li> <li>◦ 名称</li> <li>◦ 著者と件名</li> <li>◦ 分類</li> </ul> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>ローカル単語の名前タイプを1つだけ作成する必要があります。</p>
ダイ レク トID プレ フィ ックス	<p>複数の\$0エン트리（またはUNIMARCまたはCNMARCレコードでは\$3）が存在する場合に、書誌と典拠レコードの一致およびリンクに使用される1つ以上のプレフィックスをこのフィールドに入力します。詳細については、<a href="#">書誌レコード内の複数の典拠識別子に基づく典拠管理</a>および<a href="#">書誌レコードを典拠レコードにリンクするための発信元システムIDの使用</a>を参照してください。</p> <p>プレフィックスは、入力する際に括弧で囲む必要があります。複数のプレフィックスが必要な場合は、カンマで区切ります。例：(CCL1),(CCL2),(CCL3)。これらのエントリの区切りにはスペースがないことに注意してください。このフィールドに最大255文字入力できます。照合する典拠レコードに複数の035エン트리がある場合、プレフィックスを入力する順序によって、一致するかどうかを評価する優先順位が決まります。</p> <p>コミュニティゾーン管理典拠レコードの場合、Ex Librisが<b>Direct ID</b>プレフィックスを設定する必要があります。たとえば、GND（ドイツ国立図書館の著者と件名）レコードで使用されるDE-588<b>Direct</b>プレフィックスIDは、コミュニティゾーンレベルで設定されます。</p>
ファミ リ	<p>このプロファイルで、ローカル典拠レコードを入力するために使用する予定の、目録標準（MARC 21、UNIMARC、またはCNMARCなど）を選択します。この名前はファミリー列に表示されます。</p>
多言 語	<p>ドロップダウンリストから〔はい〕を選択して、典拠レコードに複数の言語エントリーが含まれることがあることを示します。詳細については、以下の4つの手順を参照してください。</p> <p>コミュニティゾーン管理典拠レコードの場合、多言語パラメータ（およびその関連コンポーネント、<a href="#">言語設定</a>、および<a href="#">複数の優先語を許可</a>）は、Ex Librisによってコミュニティゾーンレベルに設定する必要があります。</p> <p>詳細については、<a href="#">多言語典拠レコードの操作</a>を参照してください。</p>
説明	<p>このオプションを使用して、作成しているローカル典拠をより完全に識別します。</p>

3. [追加して閉じる] を選択します。作成したローカル典拠設定は、[メタデータ設定リスト] ページの [典拠単語] セクションに表示されます。

4. (任意) 上記の多言語オプションではいを選択した場合、上記の手順で作成したローカル単語の行の編集アクションを選択し、以下の表にある情報を使用して、ローカル単語の設定を完了します。

パラメータ	説明
<p data-bbox="191 653 282 678">言語設定</p> <hr/> <p data-bbox="212 732 266 758"><b>Note</b></p> <ul data-bbox="228 787 423 1178" style="list-style-type: none"> <li>これは、多言語典拠でのみ利用可能です。</li> <li>言語の設定オプションで提供される機能を使用する場合は、まずサポートに連絡して、この機能をシステムに設定する必要があります。</li> </ul>	<p data-bbox="488 317 1224 342">このボタンは、多言語パラメーターで [はい] を選択すると表示されます。</p> <div data-bbox="483 369 982 678">  </div> <p data-bbox="488 707 636 732">言語設定ボタン</p> <p data-bbox="488 772 1201 798">[言語設定] ボタンを選択して、言語コードのマッピング表を開きます。</p> <p data-bbox="483 827 1494 947">この設定は、典拠レコードで定義されている可能な言語をすべて定義します。このマッピング表を使用して、書誌レコードの\$9に言語が指定されていない場合、システムは書誌フィールドのテキストと完全に一致するテキストを持つ典拠標目を探します。システムは、設定の順序列で定義された順序で各言語の一致を探します。以下の例を参照してください。</p> <p data-bbox="483 976 1494 1163">この例では、完全に一致するテキストが中国語で見つかった場合、書誌と典拠レコードの間にリンクが作成され、優先語の修正が行われたときに正しい言語の\$9が追加されます。一致する中国語のテキストが見つからない場合、システムはマッピング表の順序列で指定された番号順に次の言語を使用して、完全に一致するテキストを探し続けます。一致するテキストが見つからず、リストの最後に到達した場合、リンクは作成されません。この例では、マッピング表の空の言語コード設定が有効なオプションであることに注意してください。</p> <div data-bbox="483 1186 982 1310">  </div> <p data-bbox="488 1339 790 1365">言語コードマッピングテーブル</p> <p data-bbox="483 1404 1500 1497">[行の追加] を選択し、単語コード、言語名、言語コード、順序を入力します。言語コードエントリはフリーテキストフィールドであることに注意してください。典拠ファイルが使用するコードに基づいてこれらを追加します。</p> <p data-bbox="488 1526 1354 1551">[行の追加] を選択して、これらの設定を言語コードマッピングテーブルに追加します。</p>

パラメータ	説明
	<div data-bbox="483 218 948 714" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Vocabulary Code</p> <input type="text"/>  <p>Language Name</p> <input type="text"/>  <p>Language Code</p> <input type="text"/>  <p>Order</p> <input type="text"/>  <p style="text-align: right;"><b>Add Row</b></p> </div> <p>行オプションを追加</p> <p>Ex Librisがコミュニティゾーンで多言語パラメータを設定する場合、この機能はローカル典拠レコードに加えて、グローバル典拠レコードでも使用できます。</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>この機能は、IDではなくテキストによって照合が行われる多言語典拠にのみ関連します。</p> <hr/> <p>詳細については、<a href="#">多言語典拠レコードの操作</a>を参照してください。</p>
<p>複数の優先用語を許可</p>	<p>このパラメータは、多言語パラメータで [はい] を選択すると表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このオプションを使用して、\$9で同じ言語が識別されたときに複数の優先語を持つ多言語典拠レコードを受け入れるためのAlmaのレコード検証を設定します。</li> </ul> <div data-bbox="526 1255 1026 1600" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <pre> LDR 00763cz##a2200241n##4500 005 20001026123748.0 008 960410nc#acannaabn#####a#aaa##### 001 9663341500301 010 \$\$a nr 96014088 035 \$\$a (OCoLC)oca04054994 035 \$\$a (DLC)nr 96014088 035 \$\$a (HKCAN-OLD)000005340 040 \$\$a DLC-R \$\$b eng \$\$c DLC-R \$\$d OCoLC \$\$d HkCU \$\$d HKCAN 100 1 \$\$a Xu, Kui \$\$9 hkn 100 1 9 \$\$a 徐葵 \$\$9 hkc 100 1 9 \$\$a 许葵 \$\$9 hkc 400 1 \$\$w nne \$\$a Hsu, K'uei \$\$9 hkn 400 1 \$\$a 許魁 \$\$9 hkc 400 1 \$\$w nne \$\$a Hsü, K'uei \$\$9 hkn </pre> </div> <p>同じ\$9の複数の優先語（典拠レコード）</p> <p>[複数の優先語を許可する] が選択されていない場合、複数の優先語を持つ多言語典拠レコードに対して警告またはブロックの検証が発生し、同じ言語が\$9で識別されます。</p> <p>詳細については、<a href="#">同じ言語コードを有するサブフィールド9</a>を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このオプションを使用して、\$9が指定されていない場合に複数の優先語を持つ多言語典拠レコードを受け入れるために、Almaでレコード検証を設定します。[複数の優先語を許可する] が選択されている場合、保存の際にMARC 21典拠を検証プロセスで、\$9が指定されていないレコードが許可さ</li> </ul>

パラメータ	説明
	<p>れます。詳細については、<a href="#">検証例外プロファイルの操作</a>を参照してください。</p>  <p>保存プロセスでの<b>MARC 21</b>典拠検証</p> <p>詳細については、<a href="#">サブフィールド9が指定されていない場合</a>を参照してください。</p> <p>詳細については、<a href="#">多言語典拠レコードの操作</a>を参照してください。</p>

##### 5. [保存]を選択します。

設定したローカル典拠プロファイルを使用して、ローカル典拠レコードを手動で入力したり、ローカル典拠レコードをインポートしたりすることができます（詳細については、[ローカル典拠レコードの作成](#)を参照）。作成したローカル典拠の定義は、MDエディタの〔ファイル>新規〕オプションメニューとインポートプロファイルの詳細の〔単語コード〕ドロップダウンリストに表示されます。

## ローカル典拠レコードを作成する

ローカル典拠レコードは、次の方法で作成することができます。

- MDエディタを使用（[MDエディタを使用したローカル典拠レコードの作成](#)を参照）
- インポートプロファイルを使用（[インポートプロファイルの管理](#)を参照）

### Note

- Almaでローカル典拠を使用するには、Ex LibrisサポートまたはEx Librisプロフェッショナルサービスの担当者が所属機関のローカル典拠機能を有効にする必要があります。
- コミュニティゾーンに存在する典拠単語のローカル典拠レコードを（MDエディタまたはインポートプロファイルを介して）作成するには、機関内にこのローカル典拠（単語）がまだ存在していない場合、まずは作成する必要があります。たとえば、コミュニティゾーンにREOの定義済みの典拠（単語）があるものの、特定の典拠レコードがなくローカルで作成する必要がある場合、ローカルで典拠レコードを作成する前に、REOのローカル典拠（単語）が所属機関に存在することを確認してください。ローカル典拠（単語）の作成については、[ローカル典拠の定義の追加](#)を参照してください。
- ローカル典拠レコードの削除ジョブを使用して、ローカル典拠を削除することができます。[ローカル典拠レコードの削除](#)を参照してください。
- システムに典拠の優先順位を設定していない限り（この機能の詳細については、[リソース管理 - 2016年11月の機能拡張](#)を参照）、複数の件名典拠をAlmaで使用できますが、使用できる著者典拠タイプは1種類のみです。たとえば、AlmaがLCNAMESを使用するように定義されている場合、GND著者典拠を使用できません。詳細については、[ローカル典拠の定義の追加](#)を参照してください。

---

## MDエディタを使用したローカル典拠レコードの作成

ローカル典拠レコードを作成する場合は、MDエディタを使用できます。

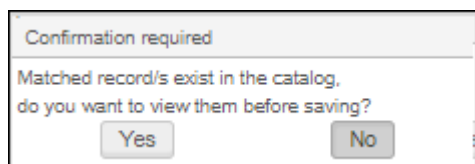
### ローカル典拠レコードを作成する方法

1. MDエディターを開きます。
2. [新規] を選択し、システム用に作成/実装されている次のようなローカル語彙のリストから選択します ([ローカル典拠定義の追加](#) を参照するか、ローカル典拠語彙がグローバル語彙の拡張である場合は、事前定義を必要としないオプションとして自動的にここに表示されます):
  - (ローカル) 議会ライブラリ件名標目
  - (ローカル) 米国議会ライブラリの著者典拠レコード
  - (ローカル) 米国国立医学ライブラリ、2013年医学件名標目
  - (ローカル) ドイツ国立ライブラリの著者と件名標目

作成しているレコードが保存される場所を特定するため、ローカル典拠レコードを作成するために設定されたネットワーク内のメンバーの [新規] メニュー オプションには、機関アイコンとネットワーク アイコンの両方で典拠が表示されます (機関レベルまたはネットワーク レベル)。

3. テンプレートを選択し ([レコードテンプレートの操作](#) を参照)、典拠レコードデータ/用語を入力します。
4. [保存] > [レコードを保存して解除] を選択します。

システムがAlmaリポジトリ内の別のレコードに重複する標目コンテンツを識別すると、確認するためのポップアップメッセージが表示されます。[はい] または [いいえ] を選択して、重複の処理方法を示す必要があります。[はい] を選択すると、重複情報が表示され、確認または編集できます。



#### 重複の処理確認

レコードが保存された後、[典拠検索] を使用して入力したレコードを表示できます。作成/保存したローカル典拠レコード/用語を使用する書誌レコードを作成できます。優先語には星印が付いています。(好ましくない用語を選択すると、MDエディタは自動的に書誌レコードに優先語を取り込みます。)

---

## 典拠レコードの表示

Almaの複数の場所から、シンプルなレコードビューページで読み取り専用レコードを表示できます。詳細については、[シンプルレコードビューページでの読み取り専用レコードの表示](#) を参照してください。

---

## ローカル典拠レコードをエクスポートする

保存されたセットを使用して、ローカル典拠レコードを、[典拠レコードのエクスポート](#) ジョブを使用してAlmaからエクスポートできます。

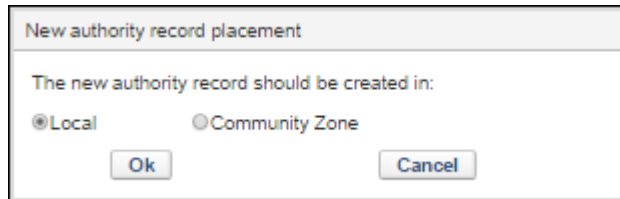
セットの詳細については、[検索クエリとセットの管理](#)を参照してください。

## 典拠レコードの配置を変更する

典拠レコードを使用して下書きモードで作業しているときに、レコードの配架場所をコミュニティゾーン、ネットワークゾーン、または機関ゾーンに変更することができます。典拠レコードの配置を変更するときに提供されるオプションは、メタデータ設定がローカル管理またはコミュニティ管理の典拠レコードにどのように設定されているか ([MDエディタでのグローバル典拠の表示とアクセスの制御](#)を参照)、および下書きレコードを作成するときに選択する際の単語によって異なります。

### 典?レコードの下書きの配置を?更する方法

1. MDエディタを開きます ( [リソース管理 > 目録 > メタデータエディタを開く] ) 。
2. [新規] を選択し、語彙名を選択します。
3. アクションの記録 > 権限の配置の変更を選択します。  
[新規典拠レコードの配置] ダイアログボックスが表示されます。提供されるオプションは、ドラフト典拠レコード (ローカルまたはネットワーク) 用に選択した単語、およびローカル管理またはコミュニティ管理の典拠レコードに対してメタデータ設定のセッティングによって異なります ([MDエディタでのグローバル機関の表示とアクセスの制御](#)を参照)。以下のオプションの1つ以上が提供されます。
4.
  - コミュニティゾーン
  - [ネットワーク(ゾーン)]
  - [ローカル (機関ゾーン)]



5. 配置場所を選択し、[OK] を選択します。

**[典拠レコードの配架場所の変更]** オプションを選択して、配置場所を再度変更できます。ただし、レコードを保存すると配架場所を変更できなくなります。レコードの保存後、[典拠レコードの配架場所の変更] オプションは無効として表示されます。

## ローカルに管理された典拠レコードにグローバル変更を実行する

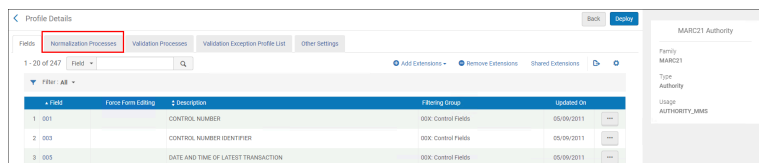
Almaは、ローカルで管理されている典拠へのグローバルな変更をサポートしています。この機能は、書誌の正規化ジョブで使用できるAlma機能と同様のDroolsベースのルールを使用して実装されます。

前提条件として、メタデータエディタに必要な変更の正規化ルールを作成する必要があります (詳細については、[「正規化ルールの操作」](#)を参照してください) 。

ローカル典?の正規化のためにDroolsベースのプロセスを作成するには：

1. [メタデータリスト設定] ページを開きます ( [設定メニュー > 目録セクション > メタデータの設定] ) 。

2. 関連するプロファイルを選択します。たとえば、ローカル典拠のメタデータ設定の場合は、「**MARC 21典拠**」のリンクを選択します。〔プロファイルの詳細〕ページの〔フィールド〕タブが開きます。
3. 〔正規化プロセス〕タブを選択します。



#### 正規化プロセスタブ

4. 〔プロセスの追加〕を選択します。プロセス詳細ウィザードのステップ1ページが開きます。
5. 〔名称〕、〔説明〕、および〔ステータス〕を入力します。
6. 〔次へ〕を選択します。プロセスの詳細ページのウィザードのステップ2が開きます。
7. 〔タスクの追加〕を選択し、〔MARC正規化ルール〕プロセスを選択して、〔追加して閉じる〕を選択します。
8. 〔次〕を選択します。プロセス詳細ページのウィザードのステップ3が開きます。



9. **Drools** ファイルキーのドロップダウンリストから、メタデータエディタで以前に作成した正規化ルールを選択します。
10. 保存を選択します。新しい正規化ルールが「プロファイルの詳細」ページの〔正規化〕タブに表示され、〔アクション〕オプションを使用して編集、コピー、または削除できます。

#### 作成した正規化ルール/プロセスを使用して正規化ジョブを実行する方法

- 上記で作成した正規化ジョブを実行します。詳細については、[定義済みセットでの手動ジョブの実行](#)を参照してください。

## MDエディタの典拠レコードの管理

MDエディタを使用して目録者は、Alma MDエディタを使用して編集された書誌レコードに関連付けられている典拠レコード（優先/非優先標目用）へのナビゲーションを素早く実行できます。機関の標目レコードに素早く移動するには、F3キーまたはAlt + F3キーの組み合わせを使用します。これら2つのオプションは同じ意味で使用できますが、異なる方法で情報を表示します。一般に、F3が参照されているところはどこでも、Alt + F3を使用することもできます。詳細については、[F3の使用](#)を参照してください。

典拠レコードの使用に関する追加情報については、以下を参照してください。

- [典拠レコードを書誌レコードにリンクする](#)
- [書誌レコードから典拠レコードを取得する](#)
- [書誌レコードからリンクされた著者/件名標目を表示する](#)

---

## 典拠管理フィールド

以下にリストされている書誌権限フィールドは、権限制御に使用されます(F3およびリンク機能に適用されます)。

---

### Note

標準の書誌承認フィールドはデフォルトで有効になっています。ただし、一般的にあまり使用されないフィールドについては、ExLibrisサポートによるアクティブ化が必要です。

---

## MARC 21

タイプ	書誌タグ	典拠タグ
個人名	100, 600,700,800	100,400,500
会社名	110,610,710,810	110, 410,510
会議名	111,611,711,811	111,411, 511
統一タイトル	130,630,730,830 240,440,490	130,430,530
イベント名	647	147,447
[年表用語]	648,388,748	148,448,548
トピック用語	650,654,385	150,450,550
地理的名称	651,751	151,451,551
[ジャンル形式用語]	655,380,386	155,455,555
パフォーマンスの媒体	382	162,462,562

MARC21の書誌データのフォーマットに関する詳細は、[こちら](#)をクリックしてください。

## UNIMARC

タイプ	書誌タグ	典拠タグ
個人名	600, 700-703	200, 400, 500
会社名	601, 610, 711, 712, 713 (1番インジケータ=0) 710	210, 410 (1番インジケータ=0) 510
会議名	601, 610, 710-713 (1番インジケータ=1)	210, 410 (1番インジケータ=1) 511
姓	602/720-723	220, 420
統一タイトル	410, 411, 500, 506, 605, 730, 740-742	230, 231, 430, 431, 530, 531
トピック用語	606	250, 450, 550
商標	716	216, 416
地名	607, 617	215, 415, 515
[ジャンル形式用語]	608, 616	280, 480, 580
名称 集合タイトル	501	245, 445, 545
分類番号	676, 680, 686	250 \$a, \$j, \$z
出版地	620, 621	260
名称タイトル	604	240, 440

UNIMARCの書誌データのフォーマットに関する詳細は、こちら：

- [UNIMARC 簡潔な書誌フォーマット](#)
- [UNIMARC 当局のフォーマット](#)

## 典拠レコードを書誌レコードにリンクする

MDエディタを使用すると、書誌レコードの[典拠管理フィールド](#)から提案された典拠レコードにすばやくリンクできます。また、推奨される典拠レコードの読み取り専用バージョンを表示し、この典拠レコードにリンクされている書誌レコードを表示することもできます。

### Note

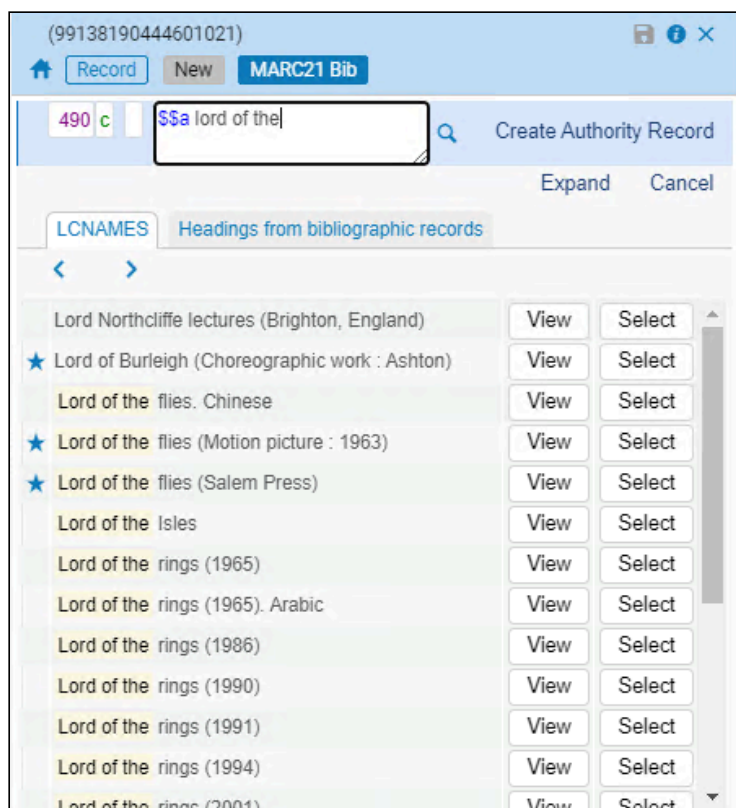
レコードセットに対して書誌レコードを典拠レコードからリンク解除するジョブを以前に実行し、それらのレコードをMDエディターで開いた場合、典拠管理ルールに従って自動的にリンクされます。詳細については、[マニュアルジョブ](#)を参照してください。

典拠標目にマッピングされる、上記の書誌フィールドの著者および件名標目のサポートに加えて、Almaは書誌の490\$aおよび440\$a（廃止）フィールドへのマッピングと、Alma MDエディタでこれらのフィールドのF3ルックアップを提供しま

す。490\$a（および440\$a）ルックアップは、典拠レコードの130\$aおよび430\$aから取得されます。

- 130 – メインエントリ – 統一タイトル
- 630 – 件名追加エントリ – 統一タイトル
- 730 – 追加されたエントリ – 統一タイトル
- 830 – シリーズ追加エントリ – 統一タイトル

F3ルックアップ（詳細については以下の手順を参照）を使用すると、MDエディタに表示される事前定義リストからお好みのシリーズステートメントを選択するオプションが提供されます。490\$a/440\$aシリーズステートメントは書籍自体の情報（シリーズの命名方法）を表すため、システムは典拠の日常処理の一部として490\$a/440\$aの自動リンク/優先語修正を行いません。（詳細については、<http://id.loc.gov/authorities/names.html>を参照してください。）ただし、MDエディタでは、490\$a/440\$aシリーズステートメントのF3ルックアップを実行できます。また、オプションで、書誌の490\$a/440\$aを更新する優先典拠を選択できます。以下の例を参照してください。



#### 490\$aのF3ルックアップ

### 名前/タイトル見出しの部分リンク

[部分リンク]機能により、特定のサブフィールドを選択的にリンクできるため、MARC21の名前・タイトルフィールドの照合精度が向上します。書誌見出し全体を典拠レコードと体系的に照合し、一致が見つかるか、コアとなるサブフィールドに達するまで、書誌見出し内の存在に基づいて右から左へと順にサブフィールドを削除していきます。

部分一致が検出された場合、[優先レコード修正（PTC: Preferred Term Correction）]ジョブは、一致したサブフィールドのみをアップデートし、他のサブフィールドは変更しません。F3で典拠レコードを選択した場合、対応するサブフィールドは上書きされますが、優先レコードに含まれていないサブフィールドは保持されます。

この機能強化により、書誌名/タイトルの見出しを典拠レコードに柔軟にリンクできるようになり、一致の精度と効率が向上するとともに、書誌レコード内の関連するサブフィールドのみがアップデートされるようになります。

## 有効化

部分的なリンクを有効にするには、顧客はパラメータ `aut_name_partial_linking` を有効にする必要があります（[\[設定\]>\[リソース\]>\[一般\]>\[その他の設定\]](#)）。これにより、新しい書誌レコードや変更された書誌レコードが部分リンク方式を使用して処理されるようになります。

### 重要な考慮事項：

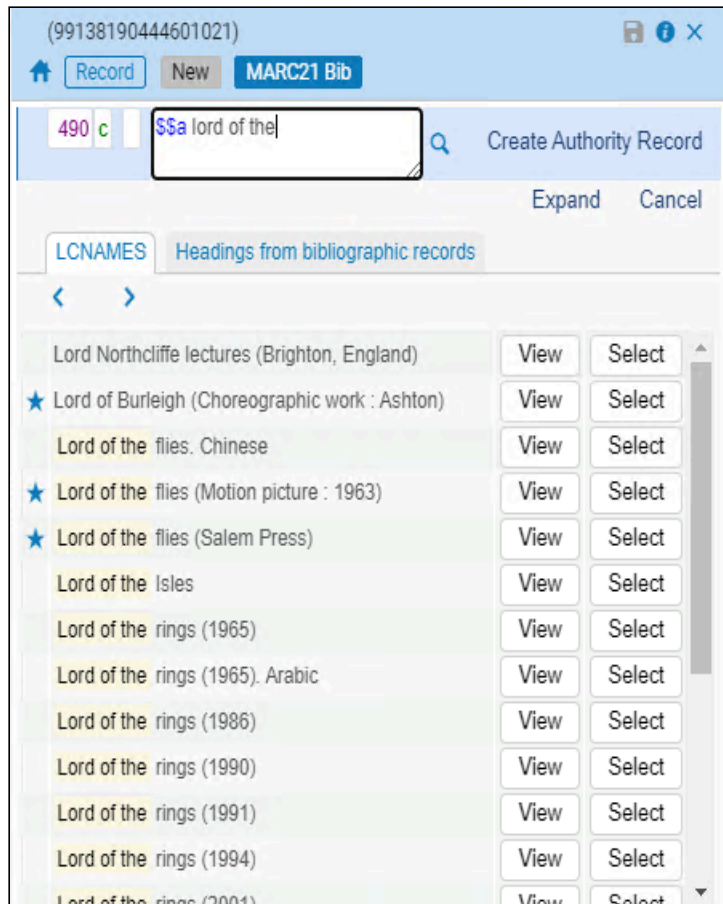
- フィールド **100** と **830** は、部分リンクロジックから除外されます。
- 繰り返し可能なサブフィールドは、順番に削除されます。
- 新しいロジックは、**880** フィールドには適用されません。
- プロセスは、コアサブフィールドに到達すると停止します。
- **F3** アクションで典拠を選択した場合、部分リンクを使用するすべての **7XX** フィールドにおいては、PTCジョブとは異なり、修正後の書誌見出しの先頭にサブフィールド **\$i** および **\$3** が配置されます。

タグ	見出し種別	コアサブフィールド	削除可能なサブフィールド	無関係なサブフィールド
110	法人	abg	cdntfklps	eu01246789
111	会議	agq	cdnetfklps	ju01246789
130	タイトル	ag	dfklmnoprst	hix0123456789
700	人物	abcdgjq	tfklmnoprs	ehix0123456789
710	法人	abg	cdntfklmoprs	ehiux0123456789
711	会議	agq	cdnetfklps	hijux0123456789
730	タイトル	ag	dfklmnoprst	hix0123456789
800	名前で入力されたシリーズ	abcdgjq	tnpfkmors	ehvwxy0123456789
810	法人で入力されたシリーズ	abg	cdntpfklmors	ehuvwxy0123456789
811	会議名で入力されたシリーズ	aegq	cdntpfkls	hjuvwxy0123456789

## 典拠レコードの表示とリンク

典?管理フィールドから典?レコードを表示/リンクするには：

1. MDエディタで新規または既存の書誌レコードを開きます。
2. [典拠管理フィールド](#)で、F3を選択するか著者名または件名標目の少なくとも3文字を新しい書誌レコードに入力し、F3を選択して提案リストを表示します。



#### 推奨用語リスト

#### Note

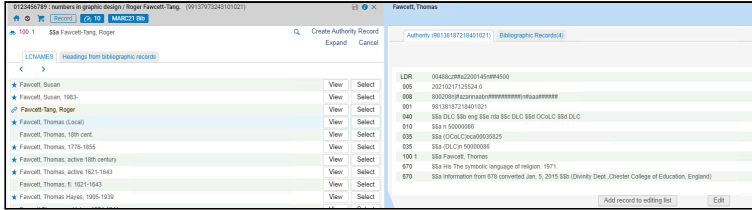
ローカル典拠は、タイトルの右側に（ローカル）と表示されます。タイトルの左側にある星は、優先語を示します。選択すると、優先語が好ましくない用語に直ちに置き換わります。

リストに目的の名前または件名標目が表示されない場合は、フィールドに文字を追加入力して結果を絞り込みます。

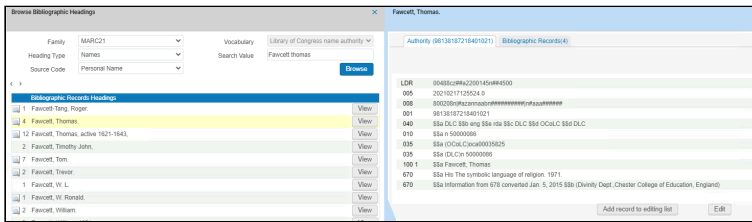
#### 3. 次のボタンのいずれかを選択します。

- ・ [選択] - 選択した典拠名または件名標目を書誌レコードにリンクします。
- ・ [表示] - [典拠]タブの分割画面の右側にある完全な典拠レコードの読み取り専用バージョンを開きます。承認された標目の場合、[表示]をクリックすると、分割画面の右側が開き、リンクされている書誌およびリンクされていない書誌レコードが一方のサブタブに表示され、リンクされた機関がもう一方のタブに表示されます。許可されていない標目の場合、[表示]オプションをクリックすると、分割画面の右側に書誌レコードが表示されます。
  - [レコードを編集リストに追加する] - [表示]を選択したときに表示される典拠レコードがローカルで、別のユーザーによってロックされておらず、典拠の下書きリストに含まれていない場合、このオプションを使用して典拠の下書きリストに追加できます。[編集リストにレコードを追加]を選択して、ローカル典拠レコードを作業レコードリストに追加します。レコードが作業レコードリストに追加されると、MDエディタでこのローカル典拠レコードを編集できます。
  - [編集] - [表示]を選択したときに表示される典拠レコードがローカルであり、別のユーザーによって

ロックされていない場合、[編集]を選択してローカル典拠レコードを変更できます。この機能は、書誌標目のブラウズ（[リソース > 目録 > 書誌標目のブラウズ]）からも利用できることに注意してください。



### ローカル典拠レコードの表示/編集



### 書誌標目を参照するローカル典拠の編集

#### Note

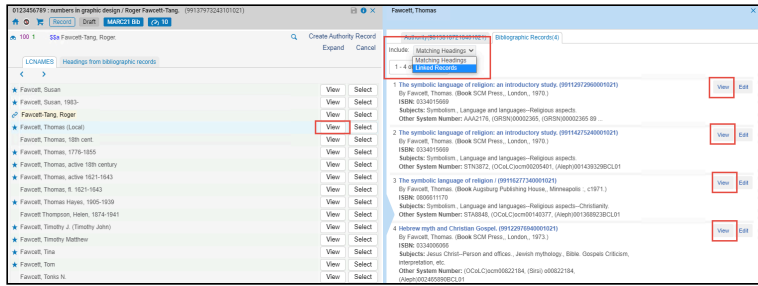
Bibの見出しを既存の一致する典拠レコードにリンクさせたくない場合は、`$$9 no_linkage` を承認フィールドに追加すると、自動リンクプロセスでそのようなリンクが作成されなくなります。[典拠管理 – リンキングから見出しを除外](#)を参照してください。

## 推奨される典拠レコードにリンクされているか利用可能な書誌レコードの表示

F3を使用すると、典拠標目に加えて書誌標目が表示される場合があります。F3を使用して表示される典拠標目と書誌レコードの標目リストは、編集中のレコードの範囲に基づいて、ネットワークゾーンまたは機関ゾーンに由来することに注意してください。以下の手順を使用して、利用可能な書誌レコードを表示します。

### 推?される典?レコードにリンクされているか、利用可能な書誌レコードを表示する方法

1. MDエディタで新規または既存の書誌レコードを開きます。
2. [典拠管理されたフィールド](#)で、著者名または件名標目の少なくとも3文字を新しい書誌レコードに入力し、F3を選択して提案リストを表示するか、典拠管理フィールドでF3を選択します。
3. 典拠レコードリストに表示される行の1つに対して [表示] ボタンを選択します。右画面に典拠タブと書誌レコードタブが開きます。
4. MDエディタの右ペインにある [書誌レコード] タブを選択します。
5. フィルタの [含める] 機能を使用して、次のオプションのいずれかを選択します:
  - 見出しの照合 – 左ペインで表示するために選択した典拠見出しの正規化されたテキスト（発音区別符号は基本文字に変換）と一致する、利用可能なすべての書誌見出しを表示する際に、このオプションを選択します。
  - [リンクされたレコード] – 左ペインで表示するために選択した典拠レコードにリンクされているリンクされた書誌標目のみを表示するにだ、このオプションを選択します。



リンクされたまたは利用可能な書誌レコードを表示する

ネットワークゾーンでは、ネットワークゾーンレコードからF3（または



リンクアイコン)を使用すると、[書誌レコード]タブに表示される書誌標目がネットワークゾーンレコードであることに注意してください。ローカルレコードからF3を使用する場合、[書誌レコード]タブに表示される書誌標目はローカルレコードです。

6. 選択した典拠レコードにリンクされているか、利用可能な参照したい書誌レコードの [書誌レコード] タブから [表示] リンクを選択します。 [表示] リンクを選択すると、Almaは読み取り専用の完全な書誌レコードを表示します。

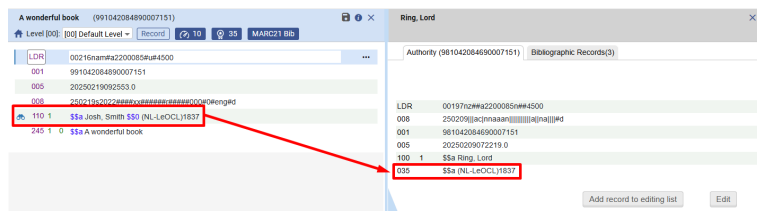
## IDベースのリンク

MD エディタでは、典拠レコードに対応する書誌フィールドに ID を割り当てることで、名前または件名標目を典拠レコードにリンクすることができます。書誌フィールドと典拠見出し（優先用語または非優先用語）が一致し、その一致に基づいてリンクが作成されるテキストベースのリンクとは異なり、ID ベースのリンクでは、書誌フィールドに配置された ID が典拠レコード全体に接続されます。具体的には、書誌フィールドのサブフィールド \$0 の ID は、035 フィールドの ID によって典拠レコードにリンクされます。書誌フィールドに ID が割り当てられていない場合、リンクは行われず、修正などの後続処理は適用されません。ID を含む特定の書誌フィールドのタグには、特別な意味はありません。

ID ベースのリンクは、次の方法で実現できます：

1. 書誌フィールドのサブフィールド \$0 に典拠ID を明示的に配置します。後続の修正ジョブでは、対応する典拠見出しが書誌レコードにコピーされます。
2. F3 ブラウジング (テキスト検索) を使用して、特定の典拠を選択することによって行います。これにより、書誌レコードと典拠レコードの間にリンクが作成され、035 フィールドの ID を含む典拠見出しが書誌フィールドにコピーされます。

例えば、企業名を表す MARC タグ 110 は ID を保持でき、個人名を表す MARC タグ 100 を持つ典拠レコードにリンクできます。つまり、書誌フィールドと典拠レコードは種類が異なる場合があります。リンクされた書誌フィールドの横に表示される双眼鏡アイコンは、ID に基づく一致が見つかったときに自動的に確立された典拠レコードへの接続を示します。ただし、F3 機能はテキストに基づいて参照するため、書誌フィールドが個人名を表しているため、典拠からの法人名の提案はオプションとして表示されません。



---

## Note

- テキストベースのリンクと ID ベースのリンクのいずれを使用するかは、実装フェーズで行われます。ID ベースのリンク使用を希望される場合は、Ex Libris サポートにお問い合わせください。
  - ID ベースのリンクは、部分的なリンクをサポートしません。
- 

---

## 書誌レコードから典拠レコードを取得する

一致する標目がない場合は、ローカル典拠レコードを作成できます。書誌レコードの標目フィールドを既存の典拠レコードにリンクできない場合は、目録者が目録化する必要があります。このような場合のために、Almaは、関連するコンテンツでローカル典拠レコードを作成するオプションを提供します。この機能は、ローカル典拠レコードを管理するための適切なパラメータセット（Ex Librisによる）を持つ機関に提供されます。

「典拠レコード作成」ボタンの表示可否は、**F3**キー押下時に選択されているタブによって決定されます。フォーカス中のタブに対して機関がローカル語彙を定義している場合、ボタンは表示され機能します。そうでない場合、ボタンは非表示になります。

---

## Note

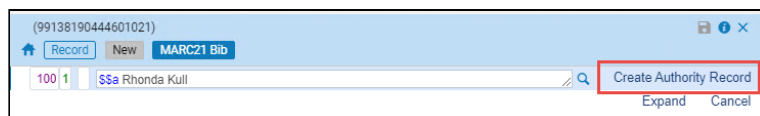
デフォルトでは、書誌標目からの新規典拠レコード作成はローカル管理語彙に限定されません。典拠レコード作成をローカル管理語彙のみに制限するには、パラメータ設定変更のためサポートに連絡してください。

---

詳細は「[書誌レコードの標目から典拠レコードを派生させる](#)」動画（2分）を参照してください。

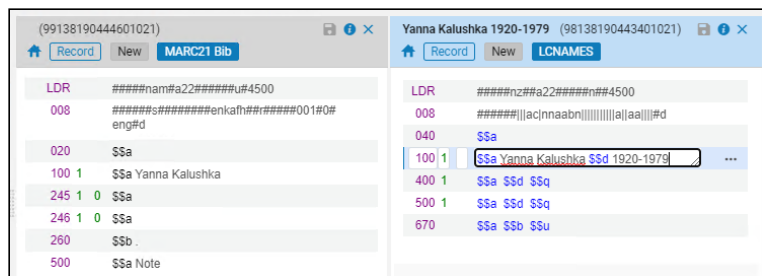
一致しない標目に典?レコードを追加する方法

1. MDエディタで新規または既存の書誌レコードを開きます。
2. [典拠管理フィールド](#)で、典拠レコードに存在しないことがわかっている標目情報を入力し、**F3**を押します。フィールドは、**〔典拠レコードの作成〕**オプションが追加された通常の方法で表示されます。



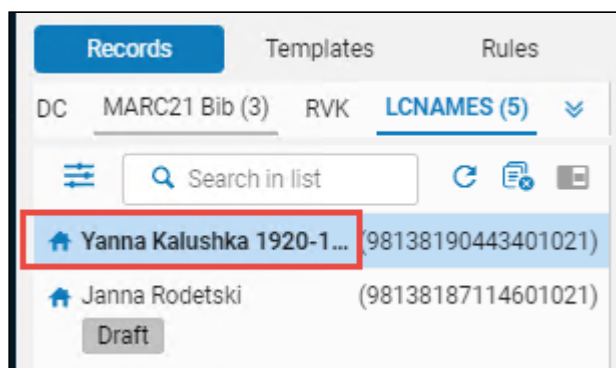
典拠レコードの作成オプション

3. **〔典拠レコードの作成〕**を選択します。新規典拠レコードが作成され、MDエディターに並列分割画面フォーマットで表示されます。



作成されたクイック典拠レコード

4. MDエディタの典拠レコードのリストには、新たに作成した典拠レコードも表示されます。



MDエディタの典拠レコードリスト

### Note

典拠レコードの作成を使用して典拠レコードを作成し、**F3**を押したときにフォーカスフィールドが600フィールドなどの非優先フィールドである場合、コンテンツは新しく作成される典拠レコードの優先フィールドである100に配置されます。

5. 通常どおり、書誌レコードの処理を完了します。

## 書誌レコードからリンクされた著者/件名標目を表示する

MDエディターでは、[典拠管理フィールド](#)から関連名/主題標目を迅速に閲覧できます。

リンクされた著者/件名標目を表示する方法

1. MDエディタで書誌レコードを開きます。

典拠管理フィールドが著者/件名標目にリンクされている場合、フィールドの横にアイコンが表示されます。



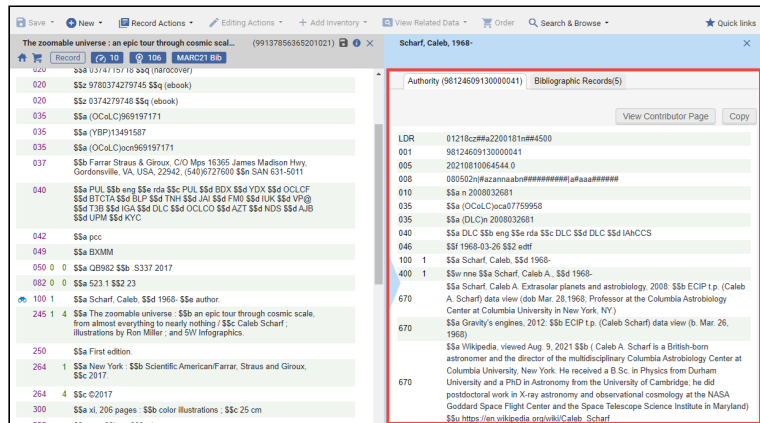
アイコンは完全なリンクングで表示され、



部分的なリンクングのために表示されます。部分リンクは、細分化された書誌標目と細分化されていない機関レコ

ードの間のリンクです。

2. アイコンを選択して、リンクされた著者/件名標目を分割画面モードで表示します。



分割画面モードで著者/件名標目を表示する

## F3を使用する

F3を使用して、MDエディタの書誌レコードまたは典拠レコードから典拠標目にアクセスできます。詳細については、[F3を使用した書誌レコードの編集](#)および[F3を使用した典拠レコードの編集](#)を参照してください。

### Note

F3は、008/pos.14-16が入力されたローカル典拠レコードにのみアクセスします。

F3を使用するときコミュニティゾーンから提供される典拠標目については、これらのレコードを所属機関のローカル典拠データベースまたはネットワークゾーンローカル典拠データベースにコピーできますが、所属機関がローカル典拠用に設定されている必要があります。詳細については、[コミュニティゾーン典拠レコードのローカル典拠データベースへのコピー](#)を参照してください。

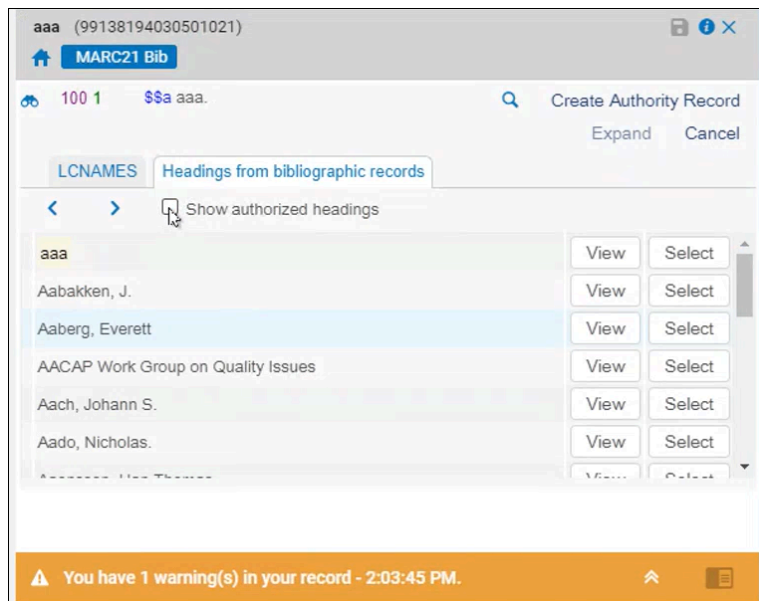
F3を使用する場合の句読点オプションに関する詳細については、[add\\_punctuation\\_for\\_heading](#)を参照してください。

書誌標目が一致する典拠標目を検索するときの特殊文字（ö、ñ、またはåなど）の正規化は、Javaの標準コンポーネントによって処理されます。詳細については、<http://userguide.icu-project.org/transforms/general>を参照してください。

## F3を使用して書誌レコードを編集する

MDエディタでレコードを作成および編集するときに、F3を使用すると、書誌レコード内の[典拠管理フィールド](#)から推奨される典拠レコードにすばやくリンクできます。また提案された典拠レコードの読み取り専用バージョンを表示し、この典拠レコードにリンクされている書誌レコードを表示します。（詳細については、[推奨される典拠レコードにリンクされている書誌レコードを表示する方法](#)の手順を参照してください）。

MDエディタの典拠管理フィールドからF3を押すと、システムは、ブラウズ可能な典拠標目のソート済みの完全なリストを表示します。



### F3典拠標目のソート済みリスト

#### Note

IEで作業していてF3を押す場合は、テキストにフォーカスされているときにEnterを押してください。そうしないと、標目リストが正しく表示されない場合があります。

システムは、典拠管理フィールドの内容への一致を探し、一致を黄色で強調表示し、結果をアルファベット順にソートします。リストは、一致する標目の前にある2つの典拠標目で始まります。

F3は、書誌標目全体に一致する典拠標目のリストを示します。下位区分が含まれている場合、F3はそれに一致する典拠標目のリストを表示します。照合のためのF3プロセスは、典拠-書誌標目のリンクジョブで使用される照合プロセスとは異なることに注意してください。詳細については、[典拠-書誌標目のリンク](#)を参照してください。

#### Note

F3経由でサブディビジョンを含まない典拠レコードにリンクすると、書誌レコードのサブディビジョンが保持され、リンクアイコンは部分一致を示します。

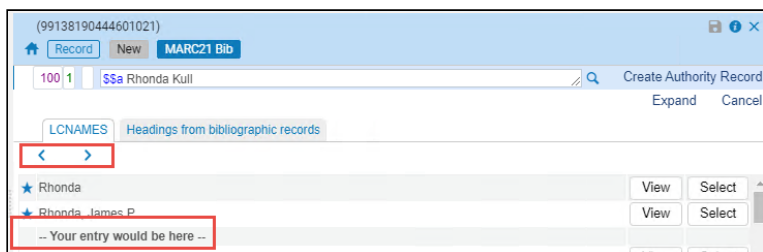
書誌レコードに、選択した典拠とは異なるサブフィールドのサブディビジョンが含まれている場合、書誌レコードのサブディビジョンが保持されます。

システムが複数の典拠単語を使用し、複数の典拠の優先順位を設定している場合（[典拠の優先順位](#)を参照）、各単語のソート済み、照合済みの典拠標目リストは、別のタブに所属機関の依頼によりEx Librisが設定した優先順位で表示されます。別のタブを選択して、さまざまな典拠標目を表示します。



典拠の複数の単語/優先順位のためのF3タブ

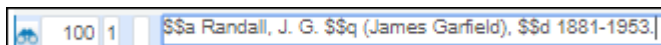
あるタブ/単語に一致を見つけ、一致するものがない別のタブに切り替えると、一致するものが存在する場合にリスト内で一致する場所を示すインジケータがシステムによって配置されます。



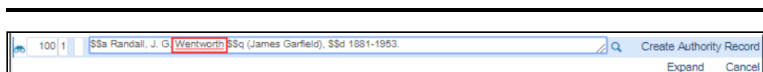
あなたのエントリはここに表示されますおよび前と次の矢印

コントロールフィールドに追加のテキストを入力する場合は、虫眼鏡アイコンを選択するか、**Enter**キーを押して典拠標目リストを更新します。

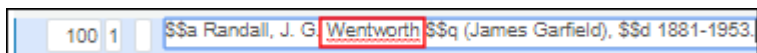
コントロールフィールドにテキストを入力するときは、そのフィールドのテキストも変更していることに注意してください。このテキストは、[キャンセル]を押してメタデータエディターのレコードに戻った後も表示され続けます。



コントロールフィールド100 - オリジナルバージョン

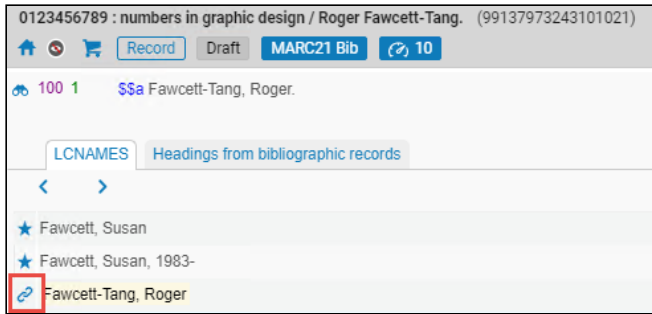


コントロールフィールド100 - F3 + 編集



コントロールフィールド100 - レコード内の変更されたテキスト

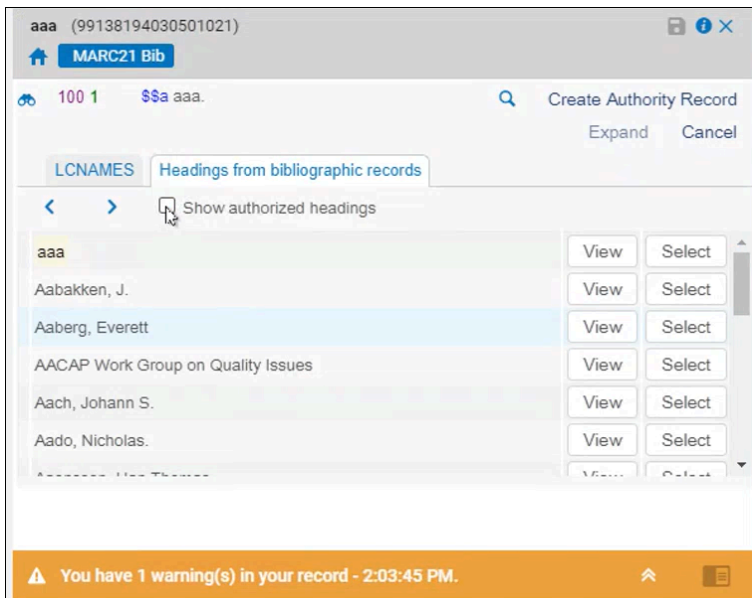
書誌フィールドにリンクされている機関標目の場合、機関標目リストの特別なアイコンは、リンクが存在することを示します。これはすべての語彙に存在します。



リンクアイコンの表示

## 書誌レコードからの標目タブ

1つ以上の典拠標目タブに加えて、[書誌レコードからの標目] タブもあります。F3が押された書誌のコントロールフィールドに応じて、[書誌レコードからの標目] タブに、書誌名または件名標目リストが表示されます。



## 書誌レコードの標目 - 著者

書誌レコードの標目 タブを選択すると、リポジトリ内の類似した用語を含む他の書誌レコードの標目のリストが表示されます。

次のいずれかのボタンを選択した場合：

- ビュー - 完全な書誌レコードが表示されます。
- 選択 - 書誌標目全体が、現在作業中の書誌レコードフィールドにコピーされます。

---

### Note

この機能は、独自のロジックに従うF3による典拠標目の検索の選択 オプションとは異なります。この場合、すべてのサブフィールドが典拠から書誌レコードにコピーされるわけではありません。

---

この機能は、典拠レコードの推奨事項が利用できない場合に提案を提供することを目的としています。顧客は必要に応じてリポジトリから書誌標目を確認および参照できます。

編集中の書誌レコードのコントロールフィールドからF3キーを押すと、承認された標目を表示 チェックボックスを使用して、承認された書誌標目と承認されていない書誌標目の両方を表示できます。これにより、利用可能な標目の完全なリストを表示できます。

- 承認された標目を表示チェックボックスがオフの場合、F3を押すと、[書誌標目]タブに承認されていない標目のみが表示されます。承認されていない標目は、アイコンなしでリストに表示されます。
- チェックボックスを選択すると、書誌フィールドの単語のすべての書誌標目が表示されます。フィールドに複数の単語が定義されている場合、リストにはそれらすべてにリンクされた書誌標目が含まれます。承認された標目の横には双眼鏡のアイコンがあります。これは、許可される標目と承認タイプ（完全または部分的）を示します。



完全または



部分的)。

現在編集されているレコードの標目はこのリストには表示されないことに注意してください。他の書誌レコードの標目のみが表示されます。F3を押したときに書誌レコードからの標目に一致するものが見つからない場合、結果リストには、典拠単語であなたのエントリはこちらですと表示されるような、相対的な配置は表示されないことに注意してください。

典拠標目リストの[表示] ボタンと[選択] ボタンは、このページで前述したように機能します。詳細については、[\[典拠レコードの表示とリンク\]](#) および [\[リンク済み書誌レコードの表示\]](#) または [\[推奨典拠レコードに利用可能\]](#) セクションを参照してください。

多言語典拠レコードを使用している機関の場合、編集中のレコードの言語とサブフィールド9で言語が指定されていない、または異なる言語が指定されている書誌標目レコードを（[書誌レコードからの標目] タブから）選択すると、サブフィールド9の書誌標目レコードのコンテンツが、編集中のレコードの値を上書きまたは置き換えます。例については、次の表を参照してください：

編集中のレコードの\$9	書誌標目レコードの\$9	レコードを編集する結果生じる\$9
lat	lat	lat
lat	なし	latが削除されました
なし	lat	lat
lat	cyr	cyr

## 751フィールド

751フィールドでF3を使用すると、著者標目と件名標目が典拠標目の結果に表示されます。この751フィールドにF3を実装すると、書誌レコードに第2インジケータが目録化されている場合、著者標目の結果に加えて件名標目の結果が表示されます。第2インジケータが指定されていない場合、F3の結果には著者標目の結果のみが表示されます。

751フィールドは、レコードの目録方法に応じて、著者標目と件名標目にリンクすることもできます。

100	1	\$\$a Boynton, Percy Holmes, \$\$d 1875-1946.
245	1	0 \$\$a London in English literature / \$\$c by Percy H. Boynton.
260		\$\$a Chicago, Ill. : \$\$b The University of Chicago Press, \$\$c [1913].
300		\$\$a xii, 346 p. : \$\$b front., illus. (plan) plates (part double) maps (part double) ; \$\$c 21 cm.
504		\$\$a Contains bibliographies.
505	0	\$\$a Chaucer's London.--Shakespeare's London.--Milton's London.--Dryden's London.--Addison's London.--Victorian London.--Contemporary London.--Appendix: Illustrative novels.--Index.
650	0	\$\$a Literary landmarks \$\$z England \$\$z London.
651	0	\$\$a London (England) \$\$x Description and travel.
751	0	\$\$a London (England) \$\$x Description and travel
751		\$\$a Camden (London, England)

リンクされた751フィールド

## Note

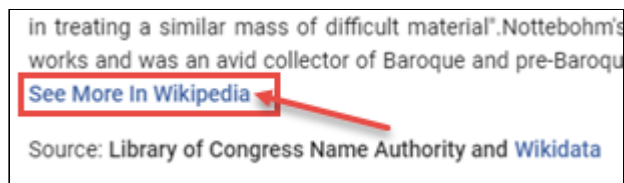
このF3の実装は、書誌標目の参照（[リソース > 目録 > 書誌標目の参照]）に表示されるオプションには影響しません。地名ソースコードオプションは、件名標目タイプが選択されている場合にのみ表示され、651および751のすべての地名が表示されます。詳細については、[件名](#)を参照してください。

## 寄稿者のページを表示

典拠タブでは、ユーザーには、寄稿者ページを閲覧するオプション（利用可能な場合）が表示されます。このページはカタログ作成者がMARCレコードの正しい典拠を識別するのに役立つだけでなく、外部リソース（WikidataとWikipedia）、およびローカルカタログの双方から詳細な情報を表示します。この情報は、典拠選択を使用する際に、カタログ作成者がリンクする正しい典拠レコードを選択するのに役立ちます。カタログ作成者は、メタデータエディターから寄稿者ページのフルページビューに移動し、メタデータエディターに戻ることができます。メタデータエディターの寄稿者ページにアクセスするには、（F3 > 表示 > 寄稿者ページを表示）を選択するか、あるいは、典拠タブで[寄稿者ページを表示]ボタンを選択します。

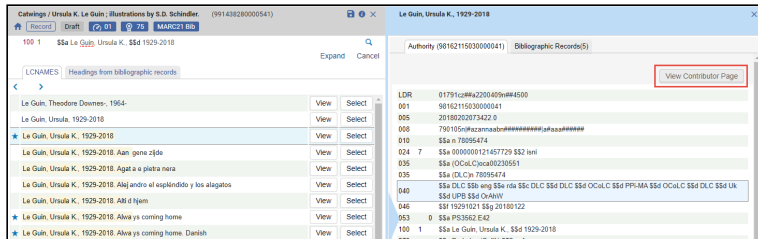
## Note

寄稿者ページの説明が広範囲にわたる場合、「Wikipediaでもっと見る」というラベルのついたリンクが表示されます。



## Note

典拠IDに基づいて新しい検索を生成するための全面的なサポートは、2024年11月のインデックス作成後に完全に機能するようになります。



メタデータ エディターから寄稿者ページを表示する

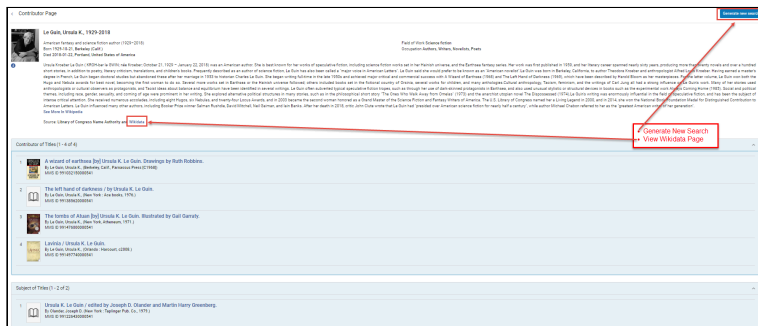
## Note

ネットワークで作業する場合、ナビゲーションとリンクされたデータはレコードの位置に応じて派生されるため、次のようになります：

- ネットワークレコードの場合、リンクされた典拠レコードの情報はネットワークから取得され、同じ寄稿者または件名にリンクされたレコードの検索はネットワークカタログで実行されます。
- メンバーが管理するローカルレコードの場合、リンクされた典拠レコードの情報はローカルカタログから取得され、同じ寄稿者または件名にリンクされたレコードの検索も機関のカタログで実行されます。

寄稿者ページは、米国議会ライブラリと Wikidata のデータの組み合わせです。寄稿者ページでは、ユーザーは次のことができます：

- Wikidata エントリーを新しいブラウザタブで開く Wikidata リンクを選択します。
- 典拠IDに基づいて検索を実行する「新しい検索を作成」リンクを選択します。



寄稿者ページのオプション：新しい検索の作成と Wikidata ページの表示

## Wikidata ページ

Wikidata ページを表示するには：

寄稿者ページの Wikidata リンクを選択します。Wikidata リンクを選択すると、ブラウザの新しいタブが開き、関連する Wikidata エントリーが表示されます。

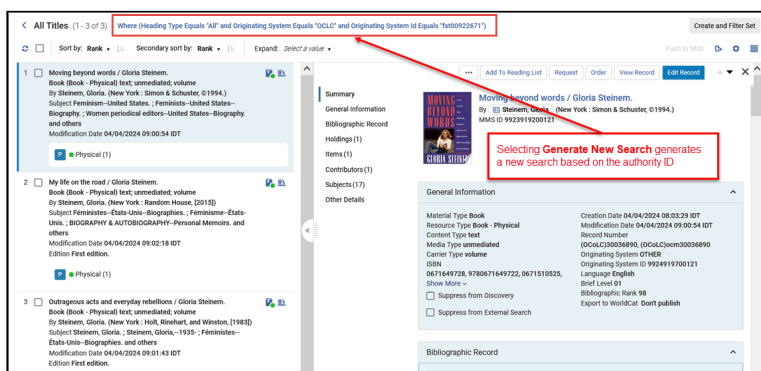


関連するエントリを含むWikidataページを表示

## 新しい検索の作成

新しい?索を作成するには:

寄稿者ページで [新しい検索を作成] ボタンを選択します。 [新しい検索を作成] ボタンを選択すると、典拠IDに基づいて、新しい検索が実行されます。



寄稿者ページを介して新しい検索を作成する

## 3XX 書誌レコードコントロールフィールド

Almaは、F3機能で使用するMARC 21およびKORMARC 3XXフィールドをサポートし、これらのフィールドを典拠にリンクできるようにします。この機能を使用する場合は、サポートに連絡して設定してください。この機能を完全に実装するには、標目の再計算とインデックスの再作成が必要であることに注意してください。それ以外の場合、この変更は新規および変更されたレコードにのみ適用されます。

3XX 書誌コントロールフィールドは、他の書誌コントロールフィールドと同様に機能します。3XXフィールドの\$2に目録された単語は、F3を押したときに典拠標目リストに表示される単語を決定します。たとえば、\$2がlcschで目録されている場合、[LCSH] タブ (単語) が表示され、典拠標目リストの結果が表示されます。

次の表に、3XX 書誌コントロールフィールドによってリンクされている典拠標目フィールドを示します。

書誌タグ	典拠標目タグ
380	155、455

書誌タグ	典拠標目タグ
385	150、450
386	155、455
388	148、448

有効にすると、3XX書誌コントロールフィールドが次のワークフローのリンクに使用されます。

- MDエディタでの F3リンク
- レコードを保存またはロードする際にリンク
- リンキングジョブを介したリンク

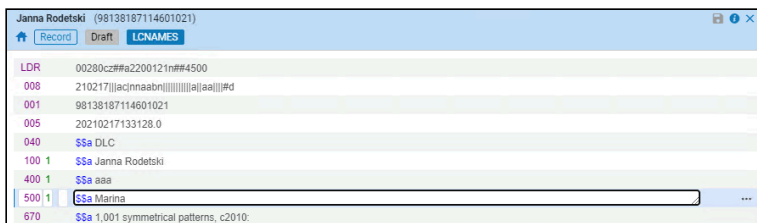
## F3で典拠レコードを編集する

### Note

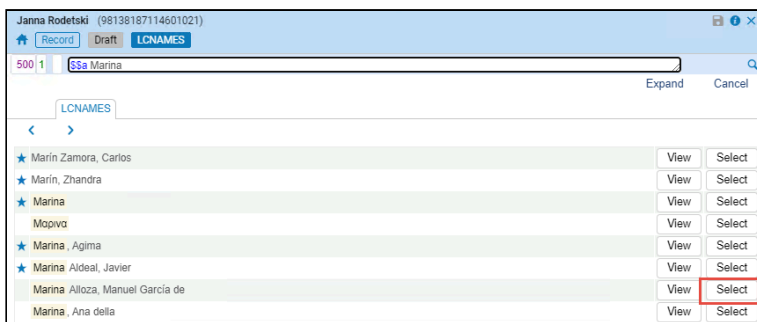
この機能はCNMARC単語に対して機能しないという既知の問題があります。

## 5XX典拠レコードコントロールフィールド

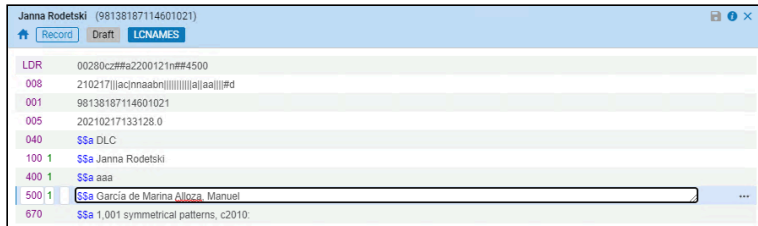
MDエディタで典拠レコードを作成および編集するときにF3を使用すると、典拠標目情報から5XXフィールドを更新できます（書誌レコードでF3を使用する場合と同様）。表示される典拠標目レコードのリストは、目録されているレコードの単語と同じ単語からのものです。以下の例を参照してください。



### 500フィールドでF3を押す



### 標目レコードの選択



## 500フィールドを更新

優先語がMDエディタの5XXフィールドにコピーされると、5XXフィールドのすべてのサブフィールドは、数値サブフィールドを除き上書きされます。

(DE-588) 1077656882などのIDを使用する単語の場合、選択された典拠レコードのIDが5XXフィールドに追加されます。IDは、次の5XXサブフィールドに追加されます。

- MARC 21 – Subfield 0
- UNIMARC – Subfield 3

多言語の単語の場合、選択した標目レコードの言語に一致する優先語が5XXフィールドにコピーされます。

この機能は、ローカル典拠レコードを扱う機関や、コミュニティゾーンで典拠レコードを編集するときに利用できません。

ネットワークゾーンの機関の場合、表示される標目は目録化されたレコードと互換性があります。つまり、ネットワークゾーンレコードには、ネットワークゾーン典拠標目が表示されます。機関ゾーンの典拠標目は機関ゾーンのレコードに表示されます。単語がローカル（機関ゾーンまたはネットワークゾーン）とコミュニティゾーンの両方で管理されている場合、標目リストにはローカルおよびコミュニティゾーンの両方の単語の標目が表示されます（書誌レコードの動作と一致）。

MDエディタで5XXフィールドが強調表示されている場合、[関連項目を参照] ([レコードアクション]>[関連項目を参照])を選択して、現在編集中の典拠レコードとリンクされた典拠レコードの両方を表示できます。詳細については、「[関連項目](#)」の表示を参照してください。

## 3XX典拠レコードのコントロールフィールド

MARC 21の場合、MDエディタのF3機能は、3XX典拠レコードのコントロールフィールドから目録化の補助として既存の優先語を見つけるのに使用できます。下の表に示されている3XX典拠レコードのコントロールフィールドはF3と併用することで、下の表で識別される、対応する典拠標目フィールドで優先語を見つけることができます。

典拠タグ	典拠標目タグ
368	150、450
370	151、451
372	150、155、450、455
373	110、410
374	150、450

MDエディタで編集中の3XX典拠レコードのコントロールフィールドの1つでF3を押すと、同じ単語の標目リストの結果が

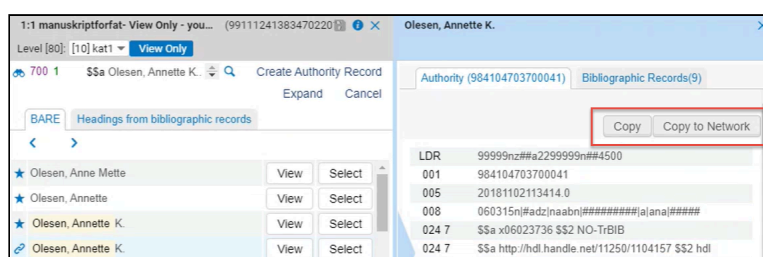
表示されます。使用可能な優先語を確認し、リストから行を選択すると、典拠レコードの3XX 典拠管理フィールドが優先語に更新されます。

## コミュニティゾーン典拠レコードをローカル典拠データベースにコピーする。

MDエディタで書誌レコードを編集し、F3を使用すると、〔表示〕を選択したときに右側のペインに表示されるコミュニティゾーン典拠レコード

([典拠レコードの表示とリンク](#)を参照)を機関のローカル典拠データベースにコピーできます。または、ネットワークゾーンで、ネットワークゾーンのローカル典拠データベースにコピーできます。これは、右ペインにコミュニティゾーン典拠レコードとともに表示される〔コピー〕または〔ネットワークにコピー〕ボタンを使用して実行できます。

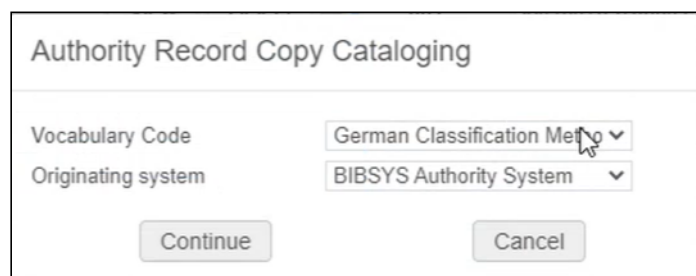
機関またはネットワークゾーンがローカル典拠向けに設定されている場合、〔コピー〕ボタンが表示されます。ネットワークゾーンのメンバー機関とネットワークゾーンの両方がローカル典拠用に設定されているメンバー機関には、〔コピー〕ボタンと〔ネットワークにコピー〕ボタンの両方が表示されます。



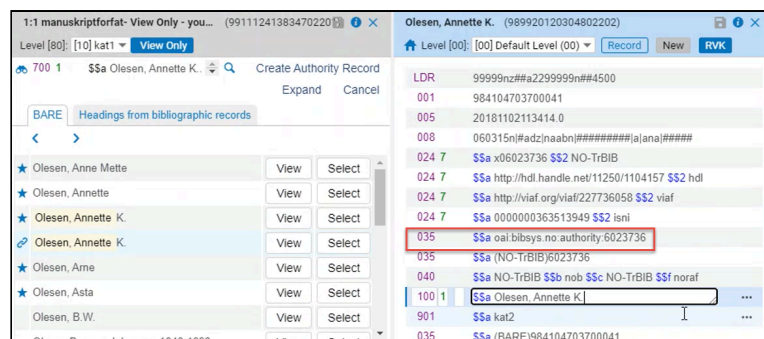
### コピーおよびネットワークにコピー

コミュニティゾーンの典拠レコードをローカル典拠データベースにコピーするには：

1. **〔コピー〕** (または**〔ネットワークにコピー〕**) を選択します。〔典拠レコードの目録コピー〕ダイアログボックスで、コピーする典拠レコードの単語コードと発信元システムを選択するように求められます。



2. **〔続行〕** を選択します。ローカル典拠データベースにコピーされたレコードが右側画面に表示されます。レコードがコピーされると、発信元システムとコミュニティゾーンレコードのMMS IDを含む035フィールドが追加されます。このレコードを通常どおり編集して保存できます。



## MDエディタでGNDレコードを操作する

MDエディタでのGNDレコードの操作に関する情報については、以下のセクションを参照してください。

### F3で使用されるGND書誌のコントロールフィールド

F3を使用してGND典拠標目を参照すると、下の表で指定されている書誌のコントロールフィールドを使用して、参照可能なリストに表示されるものを識別します。

典拠標目のブラウジングのためのGND書誌コントロールフィールド

書誌フィールド	典拠標目タイプ	075\$bで識別されるGND典拠レコードのエンティティタイプ
100	個人名	n または p
110	会社名	g または b
110	地理的名称	g または b
111	会議名	f
130	統一タイトル	u
240	個人名	u
240	会社名	u
240	会議名	u
600	個人名	p または u
610	会社名	u
611	会議名	f または u
630	統一タイトル	u
650	トピック用語	s
651	地理的名称	g
689	項目を特定しない	nを除くすべて
700	個人名	n または p または u
710	会社名	b または u
710	地理的名称	g
711	会議名	f または u

書誌フィールド	典拠標目タイプ	075\$bで識別されるGND典拠レコードのエンティティタイプ
730	統一タイトル	u
751	地理的名称	g

詳細については、[F3の使用](#)を参照してください。

### F3で標目を参照するために使用されるGNDの特別なソートルーチン

F3を使用してGND標目を参照すると、Almaは特別なルーチンを使用して、ソート済みリストを作成し、表示します。特別なソートルーチンには、次の特性が含まれます。

- 著者と件名標目のテキストは、標目のブラウズリストをソートするための文字列を作成するのに使用されます。
- 各サブフィールドは、個別のソートブロックとして扱われます。
- 特定の条件下では、標目ブラウズリストのソート用に作成された文字列に548\$aと550\$aが追加されます。
- 548フィールドと550フィールドを持つGNDレコードのファイリング値を作成する場合、548フィールドには区切り文字として単一のスペースが追加されます。550フィールドには、区切り文字として3つのスペースが追加されます。
- 548および550フィールドの反復可能なオカレンスがある場合、ファイリングテキストはすべてのエントリを単一のコンポーネントに連結します。

この特別なソートルーチンから得られる参照可能な標目リストについては、次の例を参照してください。

Headings from authority records GND			
★	Kaiser, Wilhelm	(DE-588) 106082337	nf 3
★	Kaiser, Wilhelm	1835-1945 (DE-588) 106082331	pf   1
★	Kaiser, Wilhelm	Bibliothekar (DE-588) 106082339	pf   1
★	Kaiser, Wilhelm	Lehrer (DE-588) 106082335	pf   1
★	Kaiser, Wilhelm Andres	(DE-588) 106082338	nf 6
★	Kaiser, Wilhelm Franz	(DE-588) 106082332	pf 1

特別なGNDソートルーチンから得られる参照可能な標目リストの例

詳細については、[F3の使用](#)を参照してください。

### F3で使用されるドイツ語のソート

F3を使用してドイツ語単語の典拠標目レコードを参照する場合、標目リストのソートには特別なドイツ語の並べ替えが使用されます。詳細については、[F3の使用](#)を参照してください。

ドイツ語の標目の並び替えの際の、ドイツ語のウムラウト文字などの扱いに関する説明は、[ドイツ語の文字](#)を参照してください。このソート方法は、GND、RVK、およびBKLに適用されます。

## 更新された書誌レコードの句読点ルールを実装

書誌レコードが典拠データベースから更新されると、次の句読点ルールが実装されます。

句読点ルール

(1) タグとインジケータ	(2) 句読点が追加されるサブフィールド	(3) 列 (2) のサブフィールドに続くサブフィールド	(4) 追加される句読点	(5) 句読点が存在する/存在しない場合
1####	a		を選択します。	を選択します。
1####	d		を選択します。	-.
100##	a	4	を選択します。	
100##	a	d	,	,
100##	a	e	,	,
100##	c	e	,	,
100##	q	e	,	,
100##	d	4	,	
100##	d	e	,	-.
110##	b		を選択します。	を選択します。
110##	a	e	,	-.
110##	b	e	,	.,
110##	d	e	,	,
600##	a		を選択します。	を選択します。
600##	b	a	,	,‘
600##	d	a	,	,‘
600##	d		を選択します。	.,‘
600##	q		を選択します。	).
600##	t		を選択します。	)°
6####	a		を選択します。	-).
6####	v		を選択します。	を選択します。
6####	x		を選択します。	)°
6####	y		を選択します。	を選択します。

(1) タグとインジケータ	(2) 句読点が追加されるサブフィールド	(3) 列 (2) のサブフィールドに続くサブフィールド	(4) 追加される句読点	(5) 句読点が存在する/存在しない場合
6####	z		を選択します。	を選択します。
7####	a		を選択します。	-.).
7####	a	4	を選択します。	
7####	a	e	,	
700##	a	d	,	,
7####	d	e	,	-.),‘
7####	c	e	,	-.),‘
7####	q	e	,	
7####	b		を選択します。	.,‘
7####	b	e	を選択します。	,
710##	b	e	,	,
7####	d		を選択します。	.,‘-?
7####	d	t	を選択します。	-.).
7###	t		を選択します。	-.).
800##	t	v	_ ; (セミコロン のスペース)	;
810##	t	v	_ ;	;
811##	t	v	_ ;	;
83###	a	v	_ ;	;
8####	n	v	_ ;	;
8####	p	v	_ ;	;
8####	f	v	_ ;	;
8####	l	v	_ ;	;
8####	s	v	_ ;	;
8####	x	v	_ ;	;

列 (1) =この列は、ルールが適用されるタグとインジケータを指定します。

列 (2) =この列は、句読点を追加する必要があるサブフィールドを識別します。列 (3) に何も指定されていない場合、列 (2) のサブフィールドは、タグに指定された最後のサブフィールドだと見なされます。

列 (3) =この列は、句読点を追加する必要がある場合に列2のサブフィールドに続くサブフィールドを指定します。

列 (4) =この列は、ルール条件が満たされたときに追加される句読点を識別します。

列 (5) =この列は、列 (4) の句読点が列 (2) で識別されるサブフィールドに追加されるかどうかを決定するために使用されます。次のルール条件を提供します。

- この列で指定された句読点が存在する場合、列 (4) で指定された句読点は追加されません。
- この列に句読点が指定されていない場合 (セルが空白の場合)、他のすべての条件が満たされると、列 (4) の句読点が追加されます。

---

## メタデータのインポート中に削除された典拠を処理する

Almaを使用すると、メタデータのインポート中に、削除のマークが付けられたローカル典拠レコード (レコードのLDRの5番目の位置に**d**、**s**、または**x**で示される) を削除できます。たとえば、次のレコードの5番目の位置は**d**に設定されています。



LDR	Field 1	Field 2	Field 3	Field 4	Field 5
044	d	a2200121n 4500			
005		20170726215042.0			
008		910102ni acannaabi in asa c			
001		98207139400521			
010		... la no 91000019			
040		... la IEN ic IEN			
100		10 la Gokhale, B. K.			
670		... la His A study of political theory, 1979: ib t.p. (B.K. Gokhale, vice-principal, professor, and head of the Dept. of History-Politics, Bhavaris Hazarimal Somani College, Bombay, India)			
035		... la (DLC) no 91000019			

削除のマークが付いたレコード

---

## ノルウェー典拠システム (BARE) レコードの使用

Almaは、コミュニティゾーンのノルウェー典拠システム (BARE) 典拠をサポートし、許可された投稿機関が承認された典拠レコードを、エンドツーエンドのワークフローを用いてAlmaから直接的にBAREデータベースとAlmaコミュニティゾーンにシームレスに送信する機能を提供します。

---

### Note

BARE典拠レコードを投稿するには、Ex Librisによって所属機関をコミュニティゾーンで設定する必要があります。Salesforceケースを送信して、Ex Librisにコミュニティゾーンでの承認を設定するようリクエストしてください。

---

BAREデータがコミュニティゾーンに追加され、Ex LibrisがBAREデータベースを更新が許可されたBARE投稿機関のリストに追加、維持します。

この機能により、Alma MDエディタを使用してBARE典拠レコードを作成、更新、または削除できます。Alma MDエディタで新規または更新されたレコードを保存するか、BAREレコードを削除すると、承認のためにリクエストがBAREに送信されます (SRU/Uプロトコル経由)。承認されたレコードの応答が返された場合、レコードはコミュニティゾーンとマスターBAREデータベースに保存されます。それ以外の場合は、MDエディタでユーザーにエラーメッセージが表示され、BAREがレコードに関する問題を解決する必要があります。

投稿するためにBAREに送信されたレコードでは、005フィールドに元のシステムバージョンが（日付/タイムスタンプの代わりに）表示されます。投稿後、またはBAREからレコードをリロードするときに、レコードがAlmaに返されると、Almaレコードの元のシステムバージョンが更新されます。

BAREによって受け入れられた変更は、マスターBAREデータベースに組み込まれ、コミュニティゾーンを通じてすべてのAlmaユーザーが利用できるようになります。BARE典拠ファイルの継続的な変更でコミュニティゾーンを更新するOAIインポートプロセスは毎日行われます。Ex Librisは、Alma環境外で行われた変更を含めるために、BAREの変更でコミュニティゾーンを定期的に更新します。

既存の方法（F3）を使用して、BARE典拠を使用して、Alma MDエディタでMARC 21書誌レコードを作成または編集できます。詳細については、[書誌レコードの作成](#)セクションを参照してください。

MDエディタでレコードを操作する際の目録レベルの割り当てについては、[外部管理典拠レコードの目録化](#)を参照してください。BAREレコードの場合、MDエディターのドロップダウンリストの目録レベル値により、901フィールドに\$aが表示されます。

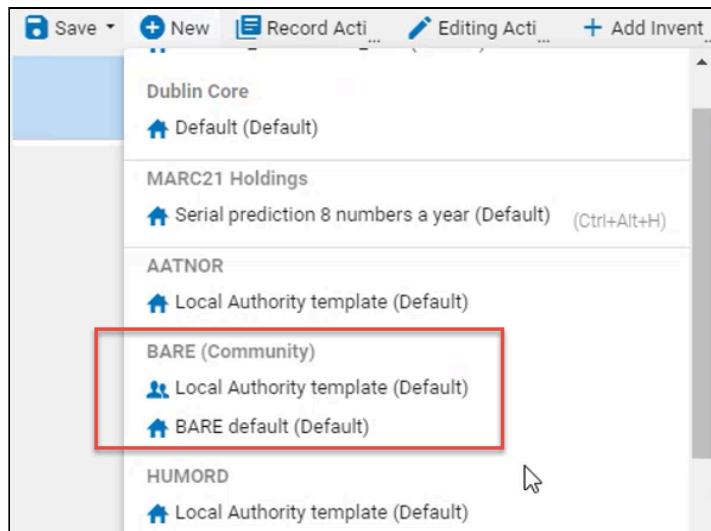
---

## BAREレコードへの投稿

承認のためにBAREレコードを投稿（送信）するには、次の手順を使用します。

### BAREレコードを承認のために投稿/送信する方法

1. [MDエディタ]を開きます（[リソース > 目録 > メタデータエディタを開く]）。
2. 新しいレコードを作成するには、[新規] > [BARE]を選択します。



### BAREの投稿オプション

3. 典拠レコードの詳細を入力します。
4. [保存]アイコンを選択します。

Almaは、承認のために記録をBAREに送信します。エラーがある場合、Almaはダイアログボックスにエラーメッセージを表示し、最初からレコードをリロードするか編集を続行するかを尋ねます。レコードをリロードして変更を破棄するには[はい]を選択し、MDエディタに戻って編集を続行するには[いいえ]を選択します。提供されたレコードが承認されると、コミュニティゾーンとマスターBAREデータベースに保存されます。

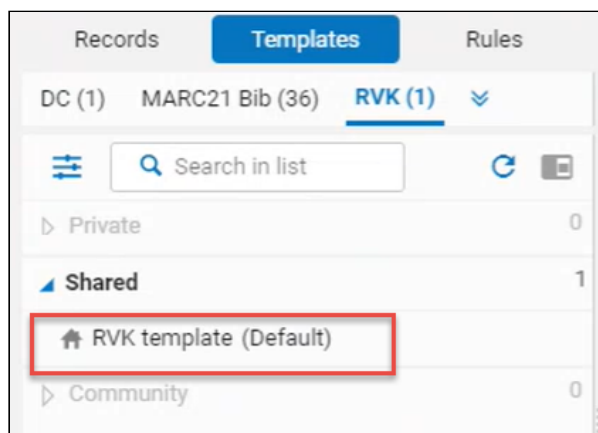
## Regensburger Verbundklassifikation (RVK) 典拠レコード分類の使用

153フィールドに請求番号標目を含むRVK典拠レコードを作成できます。その後、MDエディタで書誌レコードを作成し、書誌の084フィールドに入力する際にF3を使用して、典拠請求番号標目の典拠153フィールドに対するチェックを実行できます。RVKの詳細については、[検索索引](#)ページのRVK検索索引セクションを参照してください。

Almaは、RVK典拠レコードを作成するためのデフォルトのRVKテンプレートを提供します。このテンプレートを複製して変更したり、テンプレート要件に合わせて新しいRVKテンプレートを作成したりできます。

### Regensburger分類システム (RVK) テンプレートを使用するには

1. **[MDエディタ]** を開きます ( [リソース > 目録 > メタデータエディタを開く] ) 。
2. [テンプレート] タブを選択します。テンプレートフォルダのリストが表示されます。



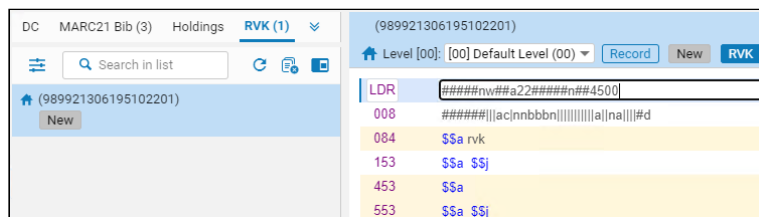
RVK テンプレートを含むフォルダ

3. 提供されているデフォルトのRVKテンプレートを使用するには、フォルダを開きます。手順については、[レコードテンプレートの操作](#)を参照してください。

### RVKローカル典拠レコードを作成するには

1. **[MDエディタ]** を開きます ( [リソース > 目録 > メタデータエディタを開く] ) 。
2. **[新規] > [RVK テンプレート]** を選択します。

Almaは、RVKローカル典拠レコードを入力できるRVKフォームをロードします。

A screenshot of the RVK form in Alma. The form is titled '(989921306195102201)' and has a 'New' button. The form contains a table with the following data:

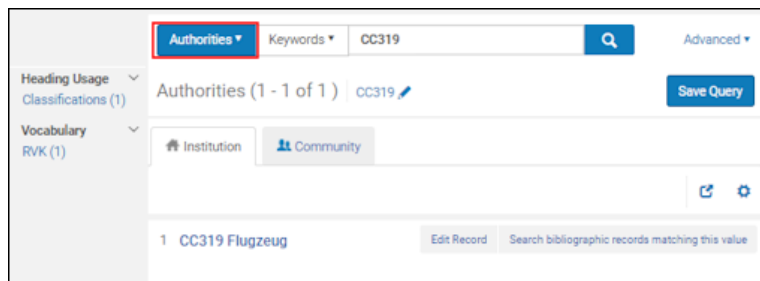
Field	Value
LDR	#####a2#####4500
008	##### ac nnbbn ##### na  #d
084	\$\$a rvk
153	\$\$a \$\$j
453	\$\$a
553	\$\$a \$\$j

RVKローカル典拠レコード

3. 典拠レコードのデータを入力します。

4. [ファイル>レコードを保存して解除] を選択します。

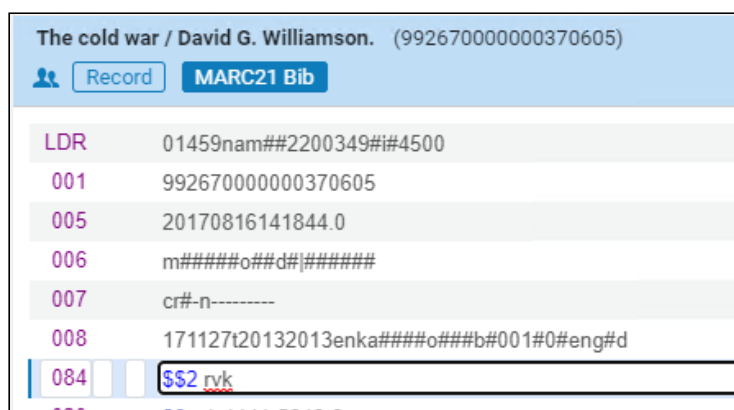
リポジトリ検索を使用すると、典拠検索でRVK典拠レコードを見つけることができます。



RVK典拠レコード

書誌レコードのRVK084標目チェックを実行するには

1. 検索を使用して作業する書誌レコードを見つけ、[編集] を選択してMDエディタでレコードを開きます。
2. [編集>フィールドの追加] を選択して、084フィールドを追加します。
3. \$2とrvkを入力します。



書誌の084フィールドの入力

4. \$aを入力したら、F3を押して優先語を確認します。システムは、分類番号 (153 \$a) または分類キャプション (153 \$j) に基づいて典拠レコードを検索します。詳細については、[分類検索索引](#)を参照してください。

書誌レコードを作成/編集する際のF3の使用に関する詳細については、[書誌レコードの作成](#)を参照してください。

## AlmaにおけるTGM (画像資料用シソーラス) の操作

米国議会図書館印刷・写真部門が開発した画像資料用シソーラス (TGM) は、視覚資料の記述と索引付けのための統制語彙を提供します。

TGMは、相互に補完的でありながら構造的に異なる2つの要素で構成されています。

コンポーネント	説明	MARCフィールド	例示用語
LCTGM	画像資料用シソーラスI- 主題用語	150	遊ぶ子供たち

コンポーネント	説明	MARCフィールド	例示用語
GMGPC	図像資料用シソーラスII-ジャンルと物理的特性用語	155	リトグラフ

Almaでは、これらの要素は単一の統合語彙ではなく、2つの独立した典拠語彙として構成されています。この設定によりMARC規格への準拠が確保され、Primo VEにおける正確な索引付け、リンク、検索結果表示がサポートされます。

## 別個の語彙管理の根拠

Almaは各典拠語彙定義を単一のMARCフィールド構造に関連付けます。

TGMが2つの異なるフィールドを使用するため、システムは単一の語彙定義では両方を正しく処理できません。

### 1. 異なるMARCフィールド構造

- LCTGM 用語はMARC 150 (主題用語) に表示されます。
- GMGPC 用語はMARC 155 (ジャンル/形式用語) に表示されます。

### 2. 異なる目録業務上の役割

- LCTGM 用語はリソースの内容 (主題内容) を記述します。
- GMGPC 用語はリソースの性質 (ジャンル/形式または物理的タイプ) を記述します。

語彙を分離することで、主題記述とジャンル/形式記述の意図された機能的差異が維持され、これは検索における索引付け、正規化、ファセット表示に影響を与えます。

### 3. Almaコード要件の分離

各語彙には固有のAlma設定パラメータが必要です。これには以下が含まれます。

- ソースコード (例: \$f lctgm、\$f gmGPC)
- MARCフィールドのマッピングとリンク動作
- Primo VEにおける索引付けとファセット設定

両語彙が同一コードを共有する場合、Almaは150フィールドと155フィールドを区別できず、典拠リンクとファセット表示の誤りを招きます。

## 設定概要

語彙	MARCフィールド	Almaコード	機能	例示書誌フィールド
LCTGM	150	lctgm	主題用語	650_0 \$a 遊ぶ子どもたち \$v 写真。
GMGPC	155	gmGPC	ジャンル/形式用語	655_7 \$a Lithographs \$2 gmGPC

## 書誌レコードを典拠レコードにリンクするための発信元システムIDの使用

Almaは、書誌レコードを特定の典拠レコードにリンクするために、元のシステムIDを使用するためのサポートを提供しま

す。この機能は、書誌レコードの典拠管理されたデータフィールドの1つに\$0が存在する場合にのみ使用できます。\$0が存在する場合、現在の書誌レコードをリンクする典拠レコードの元のシステムID（典拠レコード035 \$aから取得）を格納するために使用できます。

## Note

IDリンクされた書誌見出しとリンクする場合、それらは常に完全一致と見なされるため、PTC中またはF3メカニズムを介してサブディビジョン値が保持されることはありません。

Almaはデフォルトで、書誌レコードを典拠レコードにリンクする方法に、テキストマッチングのみを使用しています。IDマッチングを使用する場合は、Ex Librisに連絡して、典拠のリンク方式を再設定してください。

IDマッチング機能でサポートされている典拠管理データフィールドのリストについては、以下のサポートされている典拠管理データフィールド表を参照してください。

サポートされている典拠管理データフィールド

タイプ	典拠管理されたデータフィールド
パラメータ  <b>Note</b> 元のシステムは、Ex Librisが顧客パラメーターマッピングで定義するauthority_names設定によって決定されます。たとえば、authority_namesがLCNAMESに設定されている場合、元のシステムは米国議会ライブラリです。	100、110、111、130、700、710、711、730、800、810、811、830
第2インジケータ  元のシステムは、次のリストで識別されるフィールドの第2インジケータによって決定されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0=LCSH</li> <li>• 1=LCSHKIDS</li> <li>• 2=MESH</li> <li>• 3=NAL</li> <li>• 4</li> <li>• 5=CSH</li> <li>• 6=RVM</li> <li>• 7=サブフィールド2で定義されたとおり。例えば：650 17\$aCareer Exploration.\$2ericd</li> </ul>	600、610、611、630、648、650、651、654、655

書誌レコードに特定の典拠レコードの元のシステムIDとともに\$0が保存されると、Almaのレコードを更新する日常プロセスは、特定の\$0情報を使用して典拠にリンクされた書誌レコードを更新します。

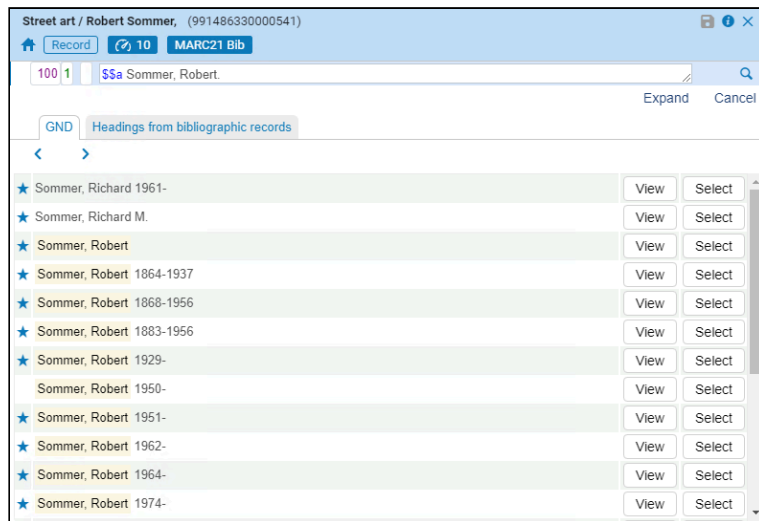
## Note

IDベースのリンク戦略では、サブフィールド \$0 がない場合でも、Link Bib Headings ジョブによってフィールド 084

がアップデートされます。

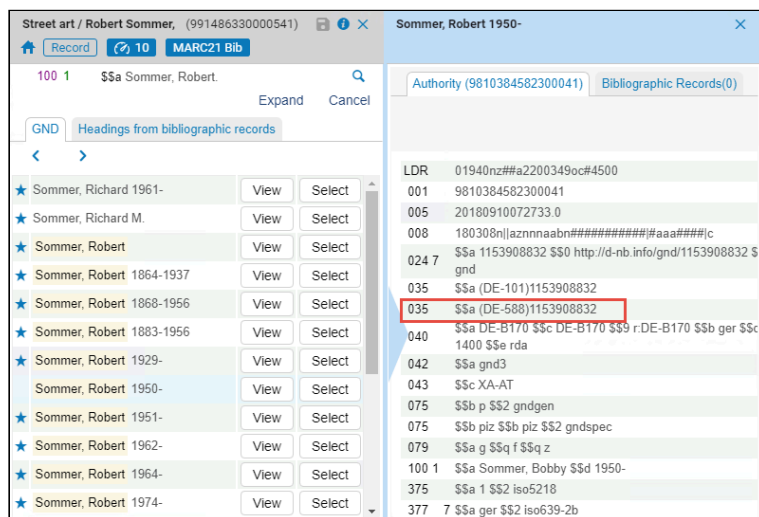
書誌レコードに元のシステムIDとともに\$0を?入するには

1. MDエディタで、\$0を追加する書誌レコードを開きます。
2. \$0を追加する典拠管理データフィールドをアクティブな行にし、F3を押します。典拠レコードの標目が表示されます。



### F3推奨典拠リスト

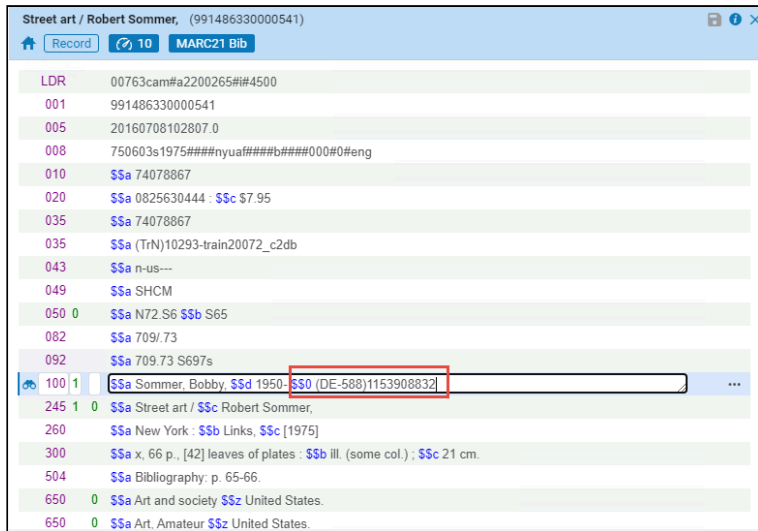
3. 必要な典拠レコードの [表示] を選択します。MDエディタは、編集画面の分割表示モードで典拠レコードの詳細を表示します。



### 編集画面の分割表示モードでの典拠レコードの詳細

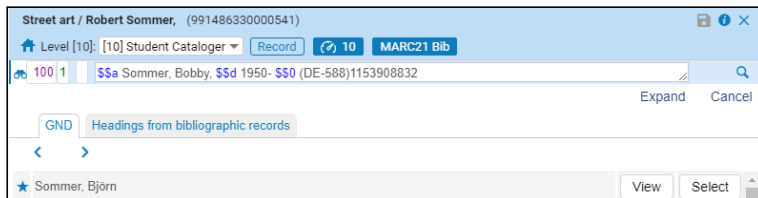
4. 典拠レコードの詳細を確認し、これが書誌レコードをリンクする典拠レコードであることを確認し、推奨リストから

[選択] を選択します。



作成された\$0

5. 書誌レコードを保存します。この典拠管理されたデータフィールドに\$0が含まれているため、F3を押すと、\$0に格納されている発信元IDを持つ典拠レコードのみが表示されます。



\$0に保存された発信元IDを持つ典拠レコードのみが表示されます

## 書誌レコード内の複数の典拠識別子に基づく典拠管理

必ずしも発信元システムIDや複数のシステムIDを指定するのではなく、ダイレクトIDを使用して、書誌を典拠目録にリンクする機能が必要な機関に対して、Almaはメタデータ設定のダイレクトIDプレフィックス（[設定メニュー>目録セクション>メタデータの設定]）を使用して、これを可能にできるようサポートしています。

ダイレクトIDプレフィックスの設定の詳細については、このページの[ローカル典拠定義の追加](#)を参照してください。

具体的には、これは書誌レコードの650フィールドの\$0で識別されるリンクレコードID（下の図を参照）と典拠レコードの035 \$aにある一致するID（下の図を参照）向けに設計されています。この機能は、さまざまなシステムのリンクシステムIDを指定することを目的として650フィールドに複数の\$0が含まれる可能性があるインスタンスをサポートします。

650 7 \$a Propaganda \$0 (DE-588)4076374-2 \$2 gnd

650 \$0の書誌レコード

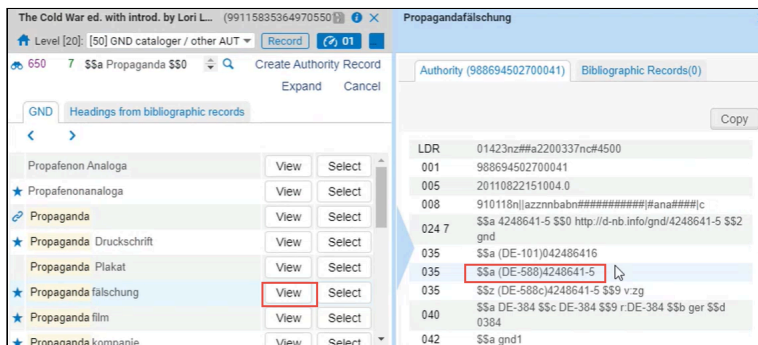


上記の書誌650の\$0 IDと035システムIDが一致する典拠レコード

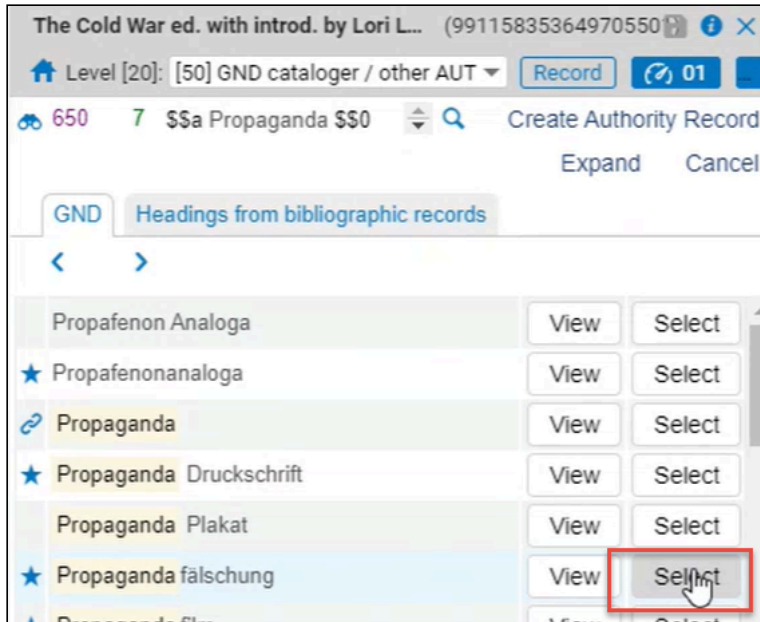
メタデータ設定で指定したダイレクトIDプレフィックスに基づいて、システムは完全なダイレクトIDプレフィックスの一致を探し、次に元のシステムIDの一致を探します。上記の図では、書誌レコード650 \$0プレフィックス/発信元システムID (DE-588) 4017214-4は、典拠レコード035 \$a (2番目の035エントリ) と一致します。

MDエディタで書誌レコードを操作していて、有効なダイレクトIDプレフィックスとレコードIDで650 \$0を入力し、[保存] アイコンを選択すると、システムは一致する035 \$aを持つ典拠レコードを検索します。一致が見つかったら、典拠レコードにリンクされたことを示すリンクアイコン (650レコードの左側) が表示されます。リンクアイコンを選択して、分割画面で典拠レコードを開きます。

MDエディタで書誌レコードを操作している場合、\$0が指定されていないアクティブな650フィールドでF3を押すこともできます。システムは、ダイレクトIDプレフィックスと発信元システムIDの正確な一致に基づいて検出した標目の一致、または任意のプレフィックス (DLCなど) と発信元システムIDの一致を表示します。典拠標目リストから、標目レコードを[表示]または[選択]します。

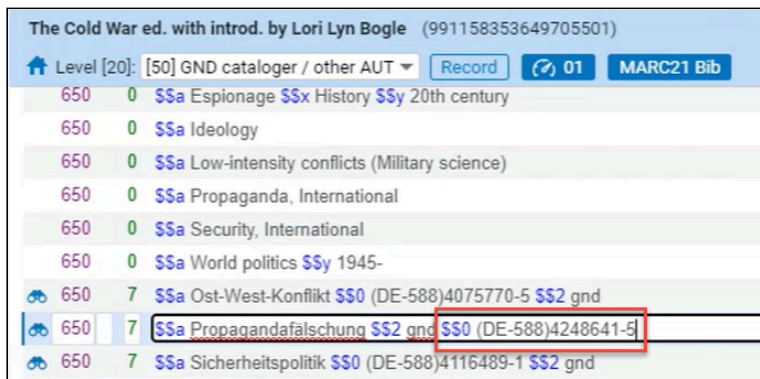


典拠標目レコードを表示する



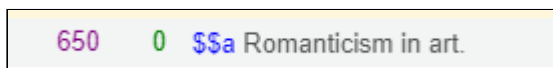
典拠標目レコードを選択

標目レコードを選択すると、一致する典拠レコード035 \$aの値が書誌レコードの650 \$0にコピーされます。



典拠標目レコード035\$aの値を650 \$0にコピー

プレフィックス（メタデータ設定でダイレクトIDプレフィックスとして識別されないDLCなど）と一致する発信元システムIDについては、以下の図を参照してください。



\$0が欠落している650フィールド

Romanticism in art	
Authority (9816874492000041) Bibliographic Records(9)	
LDR	00394cz##a2200169n##4500
001	9816874492000041
005	20170824120943.3
008	860211 #anannbavn#####a#ana#####
010	\$\$a sh 85115082
035	\$\$a (DLC)sh 85115082
040	\$\$a DLC \$\$c DLC \$\$d DLC
053	0 \$\$a N70
150	\$\$a Romanticism in art
450	\$\$a Romanticism (Art)
550	\$\$a Idealism in art
550	\$\$a Naturalism in art
550	\$\$a Realism in art

任意のプレフィックスと一致する発信元システムIDを使用した035 \$aの一致

650	0	\$\$a Romanticism in art	\$\$0 (DLC)sh 85115082
-----	---	--------------------------	------------------------

標目レコードが選択された際に、一致する典拠レコードの035\$aの値が書誌レコードの650 \$0にコピーされる

035 \$aに値がない場合、システムは標準レコードID番号を\$0にコピーします。

## 典拠レコードからリンクされた書誌レコードへの移動

書誌レコードと典拠レコードのリンクにテキストマッチングではなく、IDマッチングを使用するようEx Librisが管理する顧客パラメーターを設定した機関は、典拠レコードからリンクした書誌レコードへの移動に、次の方法を使用します。

- 典拠単語とリンクされた発信元システムID
- ダイレクトID

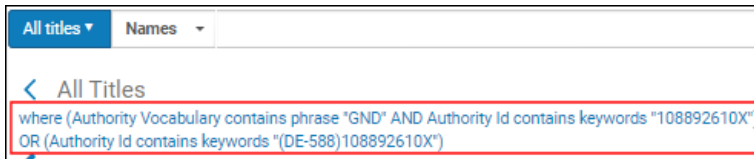
典拠レコード（コミュニティゾーンまたは機関が管理する典拠レコード）を見つけるためのリポジトリ検索を完了すると、検索結果には、この値に一致する書誌レコードの検索へのリンクと共に典拠レコードのリストを表示します。

Authorities	Keywords	aaker, d a.	Advanced
Authorities (1 - 1 of 1) aaker, d a.			
Institution		Community	
1 Aaker, D A.		Search bibliographic records matching this value	
Record number: (DE-588)108892610X			
Entity Type (GND): n			
Cataloging Level (GND): 7			
TBK (GND): f			

この値に一致する書誌レコードを検索へのリンク

この値のリンクに一致する書誌レコードの検索を選択すると、システムは典拠単語とリンクされた発信元システムIDを使用するか、キーワード検索（デフォルトの動作）または直接ID（カスタマーサポートに連絡して直接IDで検索を有効にし

ます) を使用して、特定のリンクされた書誌レコードを見つけることができます。



発信元システムIDを使用した典拠から書誌レコードへのリンクの作成

## 多言語典拠レコードの使用

Almaは、機関に複数の言語の優先語、好ましくない用語、および関連語を含む有する典拠レコードを操作する機能を提供します。この機能については、次のセクションで説明します。

- [多言語レコードの優先語修正の処理](#)
- [同じ言語コードを有するサブフィールド9](#)
- [サブフィールド9が指定されていない場合](#)
- [複数の優先語を含む典拠検索結果の表示](#)
- [言語表示がなく、IDにリンクされた書誌レコードの優先語修正](#)

詳細については、[多言語典拠レコードのサポート動画 \(48秒\)](#) を参照してください。

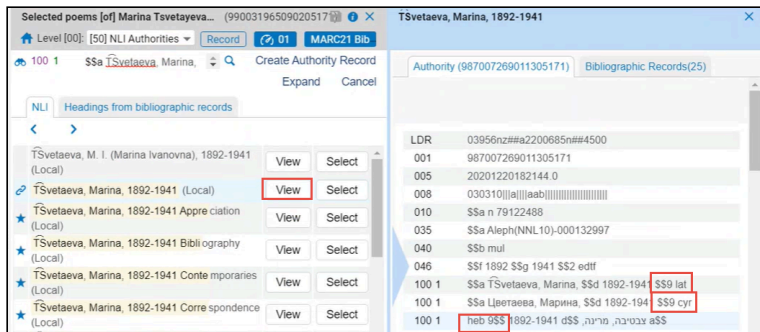
## 多言語レコードの優先語修正の処理

書誌レコードに識別コード\$9が含まれている機関の場合、Almaの多言語機能は以下のように実装されています。\$9の識別言語コードを含まない書誌レコードがある機関については、[ローカル典拠の定義の追加](#)セクションと[言語設定](#)の説明を参照してください。

- 多言語典拠レコードの場合、多言語パラメーターを [はい] に設定する必要があります。ローカル典拠レコードの場合、メタデータ設定でこのパラメーターを指定する必要があります。コミュニティゾーン管理典拠レコードの場合、この設定はコミュニティゾーンレベルでEx Librisが設定する必要があります。詳細については、[ローカル典拠定義の追加](#)セクションの表内の[多言語](#)を参照してください。
- MARC 21レコードの場合、すべての優先語、好ましくない用語、および関連語の言語コード (lat、heb、araなど) が\$9に入力されます。

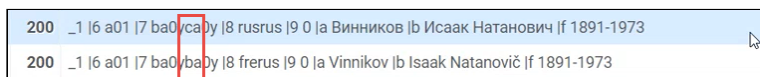
Field	Value
LDR	01401cam#a2200325##4500
001	990031965090205171
005	20201217134820.0
008	720214s1971####enk#####000#0#eng##
020	\$Sa 019211803X
035	\$Sa (IsJUNL)003196509NNL01-Aleph
035	\$Sa (OCoLC)258058
040	\$Sa DLC \$Sc DLC \$Sd DLC
041	0 \$Sa eng \$Sa rus
050	0 0 \$Sa PG3476.T75 \$Sb A23 1971
084	\$Sa 891.71
090	\$Sa 72 C 3694
100	1 \$Sa Tsvetaeva, Marina, \$Sd 1892-1941 \$9 lat \$8 PreferredLanguageHeading
245	1 0 \$Sa Selected poems [of] Marina Tsvetaeva / \$Sc translated by Elaine Feinstein with a foreword by Max Hayward.

サブフィールド9レコードエントリ



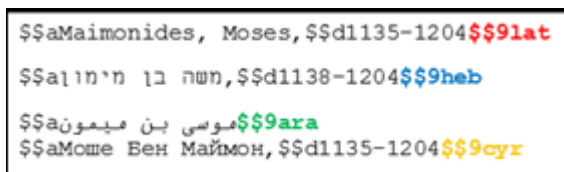
### サブフィールド9の標目の表示

- UNIMARCレコードの場合、すべての優先語、非優先語、および関連語の言語コードは\$7の5と6の位置に入力されます。



### \$7の位置5および6

- 多言語典拠レコードでは、優先語は言語ごとに複製されます。好ましくない用語は必要に応じて、各言語に入力されます。



### 各言語の用語が重複した複数の\$9エントリ

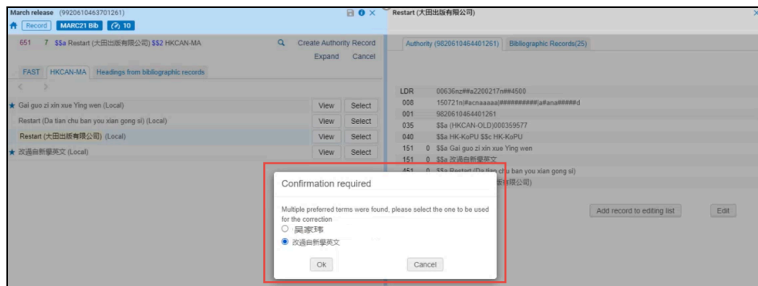
- 書誌レコードで好ましくない用語が使用されている場合、Almaは同じ言語の優先語を使用して書誌レコードを更新します。
- MDエディタでF3を使用して（適切な書誌フィールドから）、標目のリストを表示すると、標目リストは次のように表示されます。
  - 書誌レコードに（MARC 21 \$9またはUNIMARC \$7で指定された）言語コードがある場合、その言語に一致する標目のみが表示されます。
  - 書誌レコードに言語コードが指定されていない場合、すべての言語の一致する標目がすべて表示されます。典拠/書誌標目レコードの言語コードは無視されます。
- レコードの検証は、次の方法で処理されます。
  - 典拠レコードの場合、Almaは多言語設定をチェックします。多言語設定が「いいえ」の場合、1つの優先フィールドのみがMARC 21 1XXまたはUNIMARC 2XXで許可されます。多言語設定が「はい」で、優先語が複数ある場合、AlmaはMARC 21 \$9またはUNIMARC \$7の位置5および6の言語表示を確認します。
  - 書誌レコードについては、\$9の検証が強化され、以下の表に指定されたフィールドに\$9が含まれるようになりました。

MARC 21書誌フィールド	KORMARC書誌フィールド
084	084
382	100-199
440	382
490	440
648	490
650-651	600
654-655	610-619
748	630
751	648
810-819	650-651
830	654-655
	700
	710-719
	730
	748
	751
	800
	810-819
	830

- Primoに公開すると、すべての言語の優先語、好ましくない用語および関連用語を用いて書誌レコードが強化されます。

### 同じ言語の複数の優先語の処理

書誌レコードの典拠管理フィールドでF3を使用してMDエディタから優先語の修正を行う際に、非優先語を選択すると、システムはリンクする優先語をチェックします。同じ言語の複数の優先語が見つかった場合、使用する優先語を選択するように求められます。以下の例を参照してください。



### 優先語選択プロンプト

優先語を選択すると、システムはMDエディタの書誌レコードを選択した優先語で更新し、双眼鏡アイコンで識別して、フィールドがその典拠管理フィールドの優先語を表示していることを示します。



### 優先語の修正が完了

## 同じ言語コードを有するサブフィールド9

適切に設定することで、Almaではサブフィールド9に同じ言語コードを持つ複数の優先語を持つ多言語典拠を検証警告またはブロックすることなく、保存することができます。詳細については、[複数の優先用語を許可する](#)を参照してください。

### 多言語ローカル典拠レコードの設定

典拠 - 優先語修正ジョブが実行され、サブフィールド9で同じ言語コードを持つ複数の優先語が見つかった場合、書誌レコードは修正されず、典拠管理タスクリストに次のメッセージが報告されます。

### 優先語の修正 - 同じ言語の複数の優先語が見つかりました

これらのレコードについては、[典拠管理タスクリスト]を使用し([典拠管理タスクリストの使用](#)を参照)、手動で変更を加えます。[典拠管理タスクリスト]の[優先用語の修正 - 同じ言語の複数の優先語が見つかりました]アクションオプションを使用します。

Authority Control Task List

Review All

Submit Date Range 2018/01/25 - 2018/02/01

MMS ID

Action: Look-up or select

- All
- AUT record deleted - Unlinked BIB heading
- GND - AUT record partial redirection
- GND - AUT record to be deleted
- Linking - BIB heading found multiple matching AUT headings (ambiguous)
- Linking - BIB heading found no matching AUT headings
- Linking - BIB heading link change due to AUT record redirection
- Preferred Term Correction - BIB heading found no authorized term
- Preferred Term Correction - Multiple preferred terms with the same language found

優先語の修正 - 同じ言語の複数の優先語が見つかりましたアクションオプション

## サブフィールド9が指定されていない場合

\$9のない典拠レコードは、Almaで処理することができます。こういったケースを処理するために、特定の検証プロセスと優先語修正プロセスが実装されています。詳細については、[サブフィールド9がない場合の検証](#)および[サブフィールド9がない場合の優先語修正](#)を参照してください。

### サブフィールド9がない場合の検証

適切に設定することで、Almaは、保存時に**MARC 21典拠**を検証プロセスを使用する際に、検証警告またはブロックすることなく、\$9のない多言語典拠を保存することができます。詳細については、[複数の優先用語を許可する](#)を参照してください。

### サブフィールド9のない場合の優先語修正

書誌レコードのフィールドがサブフィールド9のない好ましくない用語にリンクされている場合、システムはサブフィールド9のない優先語を識別しようとし、識別した優先語を使用して書誌レコードを修正します。そのような優先語が見つからない場合、書誌レコードは修正されず、[典拠管理タスクリスト]で報告されます。（[典拠管理タスクリストの使用](#)を参照）以下の緑色の例を参照してください。

Authority	
Working on - Xu, Kui (9849441500301), Created by Ex Libris (11/12/2	
035	\$\$a (DLC)nr 96014088
035	\$\$a (HKCAN-OLD)000005340
040	\$\$a DLC-R \$\$b eng \$\$c DLC-R \$\$d OCoLC \$\$d HkCU \$\$d HkCAN
100 1	\$\$a Xu, Kui \$\$9 hkn
100 1 9	\$\$a 徐葵 \$\$9 hkc
100 1 9	\$\$a 许葵
400 1	\$\$a Hsü, K'uei \$\$9 hkn
400 1	\$\$a 許魁 \$\$9 hkc
400 1	\$\$a Hsü, K'uei
667	\$\$a Machine-derived non-Latin script reference project.
667	\$\$a Non-Latin script references not evaluated.

\$9のない優先語修正プロセス

## 複数の優先語を含む典拠検索結果の表示

典拠レコードに複数の優先語がある場合、各優先語が典拠検索結果に表示されます。例については、以下を参照してください。

Authorities	
Keywords	
Advanced	
Authorities (1 - 2 of 2)	
Save Query	
Institution Community	
1	150a sqa eu01 Entity Type (GND): u Seen from: gnd contribution test b
2	Xu, Kui 许葵 徐葵 Seen from: Hsü, K'uei, Hsü, K'uei

典拠の検索結果に複数の優先語が表示される

## 言語表示がなく、IDにリンクされた書誌レコードの優先語修正

書誌レコードが典拠レコードにIDによってリンクされる場合、書誌レコードに言語表示がなく、多言語の違いにより複数の優先語オプションが存在する場合は、優先語の修正が完了します。優先語の修正プロセスの一環として、優先語に加えて言語表示が書誌レコードにコピーされます。MARC 21の場合、言語表示は\$9にコピーされます。UNIMARCの場合、\$7の位置0-1にコピーされます。

## 書誌レコードの典拠レコードIDの自動更新

IDベースの典拠管理に設定され、メタデータ設定でダイレクトIDプレフィックスを実装している機関の場合、Almaは、新しい典拠レコードが既存の典拠レコードを置き換える際に、典拠管理された標目フィールドの\$0の新しい典拠レコードIDで（古いIDを置き換え）書誌レコードを自動的に更新します。これは、ローカルとコミュニティゾーンの両方の典拠レコ

ードに当てはまります。

この機能には、書誌レコードの新しい適切な典拠レコードへの自動再リンクが組み込まれ、新しい典拠レコードに基づいて優先語の修正が実行されます。さらに、[典拠管理タスクリスト]は、これらのIDの**変更**を識別するレポートを提供します。

---

## 自動ID変更の処理

書誌レコードの自動典拠レコードIDの変更処理は、次の方法で実行されます。

1. 典拠レコードIDが**変更**された新しい典拠レコードがコミュニティゾーンにロードされます。コミュニティゾーンの既存の典拠レコードを置き換える新しい典拠レコードには、**035 \$a**に新しい典拠レコードIDが格納され、以前の典拠レコードIDは**035 \$z**に格納されます。

以前のレコードIDが複数存在する可能性があるため、**単一の典拠レコードに複数の035 \$zエントリ**があります。次の例では、**(DE-588)**がメタデータ設定リストで**ダイレクトIDプレフィックス**として識別されるため、**(DE-588)**エントリが**強調表示**されています。

2. 次のスケジュールされたジョブは、書誌レコードを更新します。

- [コミュニティゾーンから変更を同期](#)（または典拠 - ローカル典拠レコードのための[ローカル典拠レコードの更新処理](#)あるいはその両方）

コミュニティゾーンジョブから**変更を同期**ジョブは、書誌レコードの**\$0**を更新し、コミュニティゾーンの典拠レコードへの再リンクを実行します。

典拠 - ローカル典拠レコード更新の処理ジョブは、書誌レコードの**\$0**を更新し、ローカル典拠レコードの再リンクを実行します。

- [典拠 - 優先語の修正](#)

典拠 - 優先語修正ジョブは、コミュニティゾーンにリンクしたレコードとローカル典拠にリンクしたレコード（ローカル典拠が実装されている場合）の両方の新しい典拠レコードに基づいて、書誌レコードを新しい優先語で更新します。

詳細については、[スケジュール済みジョブの表示](#)ページを参照してください。

3. **変更**は、[典拠管理タスクリスト]で識別されます。詳細については、**典拠管理タスクリスト**でのレポート（下記）を参照してください。

---

## 典拠管理タスクリストでのレポート

[典拠管理タスクリスト]の[リンクング - AUTレコードのリダイレクトによる書誌標目リンクの変更](#)レポートタイプは、新しい典拠レコードが既存の典拠レコードを置き換えるときに書誌レコードに加えられた**変更**に関する詳細を提供します。このレポートタイプには、次の情報を提供するコメント列があります。

- 典拠レコードの**035 \$z**から取得された古い典拠レコードID
- 典拠レコードの**035 \$a**から取得された新しい典拠レコードID

詳細については、[典拠管理タスクリストの使用](#)を参照してください。

さらに、レコードへの URI の追加を監視するためのリンクジョブと PTCジョブ のレポートタイプ があります。以下のレポートが追加されました:

- URI を使用して書誌見出しとレコードを強化できませんでした。
- 書誌見出しとレコードが URI で正常に強化されました。
- 見出し内の既存の URI を置き換えました。

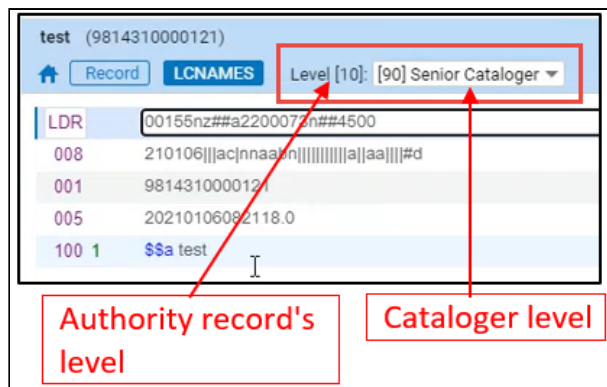
## 外部管理典拠レコードの目録化

GND または BARE などの外部管理システムの典拠レコードを MD エディタで編集する際 ([MD エディタでの GND レコードの操作](#) および [ノルウェー典拠システム \(BARE\) レコードの操作](#) を参照)、Alma はワークフローの効率を改善する機能を提供します。

- 目録レベルの割り当て ([保存時の目録レベルの割り当て](#) を参照)
- 目録レベルのユーザー設定 ([cataloging\\_level\\_user\\_preferences](#) を参照)
- レコードバージョンの自動チェック ([レコードバージョンの自動チェック](#) を参照)

## 保存時に目録レベルを割り当てる

目録作成者レベルのドロップダウンは、目録レベルが機関用に設定されている場合、MD エディタで目録化中の典拠レコードの上に表示されます ([外部管理された典拠への貢献のための目録レベルの設定](#) を参照)。



レコードを保存して投稿すると、このドロップダウンで選択したレベルが、典拠レコードの [目録作成許可レベル] フィールドに入力されます。

このドロップダウンの値は、目録者レベルから単語コードマッピングテーブルの [外部システム目録作成レベル] 列 ([030 目録の設定#Configuring Cataloging Levels for Contribution to Externally Managed Authorities](#) 外部管理機関への投稿のための目録作成レベルの設定を参照) およびユーザーの詳細でユーザーに割り当てられた目録者レベルから継承されません。

ユーザーの詳細で定義された目録者レベル

目録設定によっては、[目録者のアクセス許可レベル]ドロップダウンで選択した目録レベルが、編集する後続の典拠レコードのデフォルトとして引き続き表示される場合があります。詳細については、[目録レベルのユーザー設定](#)を参照してください。

## レコードバージョンの自動確認

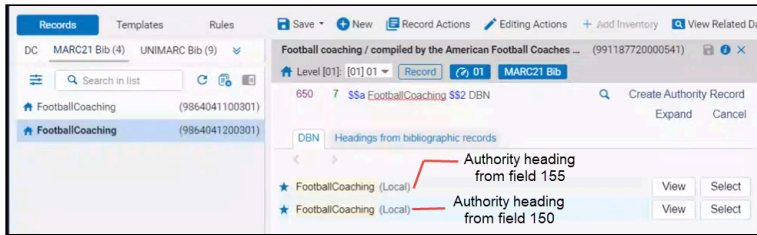
レコードが古いバージョンであるために外部管理システムによって拒否されないように、AlmaはMDエディタで開いているレコードが外部管理システムのレコードより新しいか古いかをチェックします。005フィールドに格納されているレコードのバージョンは、バージョンチェックに使用されます。外部管理システムに新しいバージョンのレコードが含まれている場合、Almaは、編集するレコードを開く前に新しいバージョンをリロードするオプションを提示します。[はい]を選択して新しいバージョンをリロードして新しいバージョンの編集を続行するか、[いいえ]を選択して古いバージョンの典拠レコードを開いて操作します。

新しいバージョンのオプション

## 許可された書誌フィールドに使用される典拠フィールドの拡張

目録担当者がメタデータエディタの典拠対応フィールドの1つにおいて**F3**を押すと、関連する典拠フィールドに由来する見出しのリストが表示されます。この機能は拡張可能で、**F3**を押すことで複数の典拠フィールドからの見出しのリストが表示されます。その後、目録担当者はリスト内の任意のレコードを選択し、優先レコードを書誌レコードにコピーすることができます。

たとえば：語彙DBNの2番目のインジケータ「7」を含むMARCフィールド650で**F3**を押すと、150/450または155/455フィールドのいずれかの見出しリストが表示されます。これは、150、450、155、および455フィールドすべての典拠見出しを1つのリストに結合することによって実行されます。



---

## Note

典拠フィールド180、181、182、185は、典拠管理メカニズムの一部ではないため、この機能はサポートされません。

---

この機能は典拠管理に 完全に対応しています：

- グローバルとローカルへのリンク
- すべての書誌レコード形式
- 優先用語の修正（PTC）ジョブ - 優先用語を典拠レコードから書誌レコードへとコピー
- 一般公開とPrimoへの公開における典拠の強化
- AlmaとPrimoVEの非優先用語による検索

---

## Note

貴機関でこの機能を有効化するには、Ex Librisカスタマーサポートまでご連絡ください。

---